B5WY-0151-03 Z0

Printia LASER

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

Printia LASERプリンタユーティリティ
ソフトウェアマニュアル

※ 本マニュアルでは、次のプリンタについて説明します。
- XL-5330
- XL-5340
- XL-5730

本マニュアルの画面例などで、XL-XXXX と表示された箇所は、ご使用の機種に読み替えてください。
また、機種によっては表示内容が一部異なることがあります。

FUJITSU

第 1 章

Printianavi の設定

プリンタの状態を見たり、エラー時のメッセージの表示方法などを変更したりする Printianavi の設定について説明します。Printianavi を利用してプリンタドライバに設定値を反映することもできます。

※ Windows 2000/NT4.0 の場合は、管理者権限でログオンしてから設定を行ってください。

Printianavi を有効にする

Printianavi の機能をお使いになるには、次の設定が必要です。

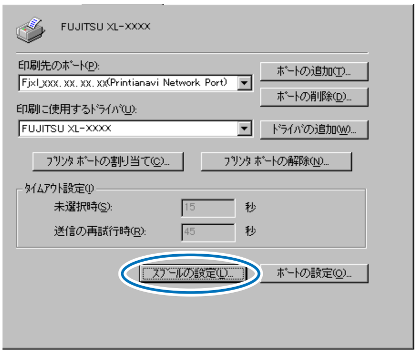
1　プリンタのプロパティを開く

〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択して、プリンタフォルダを開き、設定を行うプリンタを選択した後、〔ファイル〕メニューの〔プロパティ〕を選択します。

2　双方向通信機能を有効にする

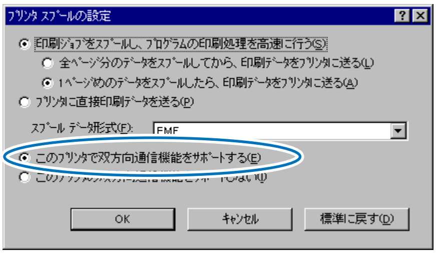
・Windows 95/98/Me のとき

※この画面は Windows 95 のものです。
OS により一部表記が異なる場合があります。



1〔詳細〕ダイアログの〔スプールの設定〕をクリックする

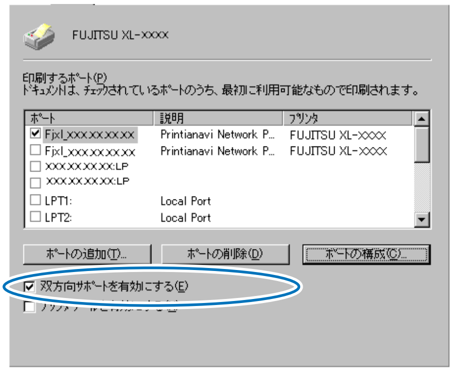
〔プリンタスプールの設定〕ダイアログが表示されます。



2「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」を選択する

設定が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

・Windows 2000/NT4.0 のとき

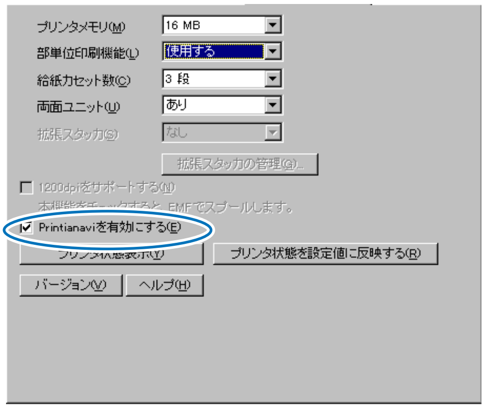


〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」をチェックします。

※印刷先ポートをサーバ経由に指定している場合には、「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」は、グレーアウトされているので、手順 3 の処理へ進んでください。

3　*Printianavi を有効にする*

〔装置オプション〕ダイアログの「Printianavi を有効にする」をチェックします。（画面の例は Windows 95/98/Me ）
設定が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。
※ 下記の画面は、XL-5340 の画面です。



印刷時のメッセージ表示方法を変更する

Printianaviによるメッセージをどこに、どのように表示するかを設定します。

ガイド　Printianaviの設定を行うには、〔装置オプション〕ダイアログの「Printianavi を有効にする」がチェックされている必要があります。（「Printianavi を有効にする」（4 ページ）参照）

〔Printianavi〕ダイアログ



印刷中のステータス表示

印刷中のプリンタのステータスの表示方法を指定します。
ステータス表示の種類については、「印刷中のステータス表示の種類」(7ページ)を参照してください。

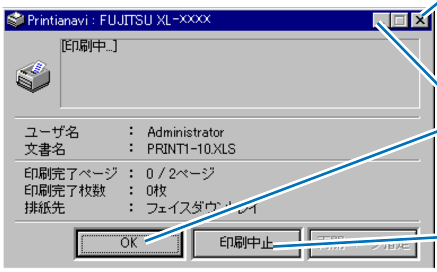
エラー時ポップアップ	印刷中のステータスを、通常はタスクトレイにアイコン表示し、エラー発生時のみポップアップ表示します。 エラーが解除されると自動的にタスクトレイでのアイコン表示に戻ります。（初期設定）
ポップアップ	印刷中のステータスを、常にポップアップ表示します。
最小化	印刷中のステータスを、常にタスクトレイにアイコン表示します。
表示しない	印刷中にステータスを表示しません。

● 印刷中のステータス表示の種類

印刷中のステータス表示には、次の２つがあります。
どちらの表示も、印刷が終了すると自動的に終了します。

【ポップアップ表示】

画面上にウィンドウで表示します。



〔閉じる〕ボタン
印刷中のステータス表示を終了するときにクリックします。

〔最小化〕ボタンおよび〔OK〕ボタン
最小化表示に切り替えるときにクリックします。

〔印刷中止〕ボタン
印刷を中止するときにクリックします。

※ 印刷完了ページは、部単位印刷のときのみ部数が表示されます。
※ エラー発生時の再開ページ指定
サーバが Windows 2000/NT4.0 で紙づまりのエラーが発生したときのみ、〔再開ページ指定〕ボタンが有効になります。
再開ページ指定機能を使用できない場合は、〔再開ページ指定〕ボタンはグレーアウトされます。
プリントサーバがWindows 95/98/Meの場合は、〔再開ページ指定〕ボタンは表示されません。
〔再開ページ指定〕ボタンをクリックする前にプリンタのエラーを解除すると、印刷が自動的に再開されます。
再開ページを指定するときは、エラーを解除する前に〔再開ページ指定〕ボタンをクリックしてください。



〔再開ページ指定〕ボタンをクリックする



印刷再開ページの設定を行うことにより、印刷再開ページの変更を行います。

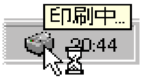
【最小化表示】

タスクトレイにアイコンで表示します。



・ダブルクリックすると、ポップアップ表示に切り替わります。

・マウスカーソルを合わせると、
簡単なステータスを表示します。



・右クリックすると、次のメニューが表示されます。

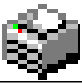
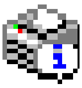
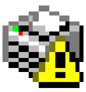


［Windows 95/98/Meの画面］

〔元のサイズに戻す〕
ポップアップ表示に切り替わります。

〔印刷中止〕
印刷を中止します。

〔ステータス表示の終了〕
表示を終了します。

アイコン	説 明
	印刷中です。
	プリンタが次の状態です。 ウォームアップ／クールダウン中、印刷準備中、印刷待ち、印刷再開準備中
	プリンタがエラー状態です。
	プリンタのトナーが残り少なくなっているなど、その他の状態を示します。

ガイド

再開ページが指定可能なエラーの場合、右クリックメニューで再開ページ指定を選択できます。（プリントサーバが Windows 2000/NT4.0 の場合）
なお、プリントサーバが Windows 2000/NT4.0の場合でも、再開ページ指定機能が使用できないときは、グレーアウトされます。

ステータスを最前面に表示する

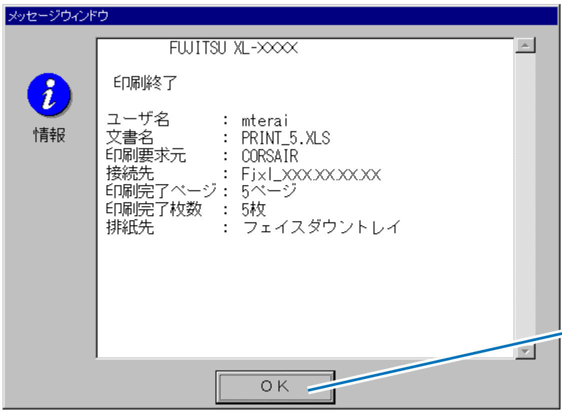
印刷中のステータス表示を常に最前面に表示するときにチェックします。

ガイド　ステータス表示が他のアプリケーションの後ろに隠れて見づらい場合にチェックを付けてください。

印刷の終了を通知する

印刷終了のメッセージを表示するかどうかを指定します。表示するときは、チェックします。

印刷終了のメッセージ例

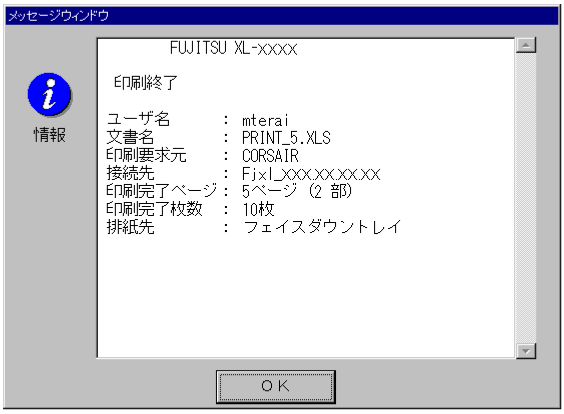


〔OK〕ボタン
クリックすると、
表示を終了します

ガイド

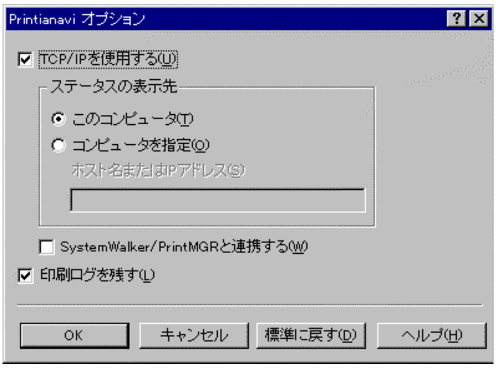
- 印刷終了通知は、印刷が正常に終了した場合のみ通知されます。エラー等によって印刷が打ち切られた場合は通知されません。
- 部単位印刷を行った場合は、「印刷完了ページ」のページ数の後ろに指定した印刷部数を表示します。

部単位印刷を行った場合の印刷終了のメッセージ例



オプション

サーバと連携させた場合等に、メッセージの表示先を指定する場合に設定します。また、印刷結果のログを採取する場合もこの画面で設定します。



TCP/IP を使用する………… TCP/IP を使用するときにチェックします。チェックを付けないとサーバ経由の場合、メッセージはサーバ側に表示されます。
※ステータス表示先の設定および「SystemWalker/PrintMGR と連携する」の設定はできません。

ステータスの表示先

このコンピュータ…………… エラーメッセージ、印刷完了メッセージ、ステータスは、印刷を行ったパソコンに表示します。(初期設定)

コンピュータを指定………… エラーメッセージ、印刷完了メッセージ、ステータスは、入力フィールドに設定したホスト名またはIP アドレスが割付けられたパソコンに行います。
※ この設定を行うにはホスト名、IP アドレスの設定が必要です。

SystemWalker/PrintMGR と連携する……… SystemWalker/PrintMGR または V3.1L31 以前のバージョンに添付されていた Printianavi ネットワーク連携ユーティリティを使用してメッセージ連携を行う場合に選択します。
※チェックを付けていると「印刷ログを残す」は設定できません。

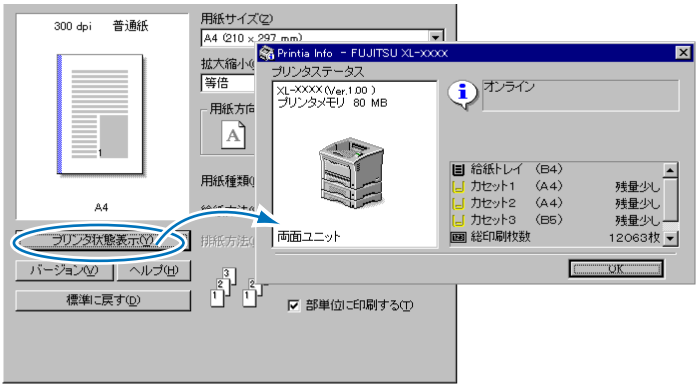
印刷ログを残す………………… パソコンで印刷結果ログを採取する場合に選択します。(初期設定)
印刷ログを表示する場合は「印刷ログ機能」(15 ページ)を参照してください。

プリンタの状態を表示する

ここでは、プリンタの状態を表示する操作と表示画面について説明します。

ガイド　プリンタの状態を表示するには、Printianavi が有効になっている必要があります。（「Printianaviを有効にする」（4ページ）参照）

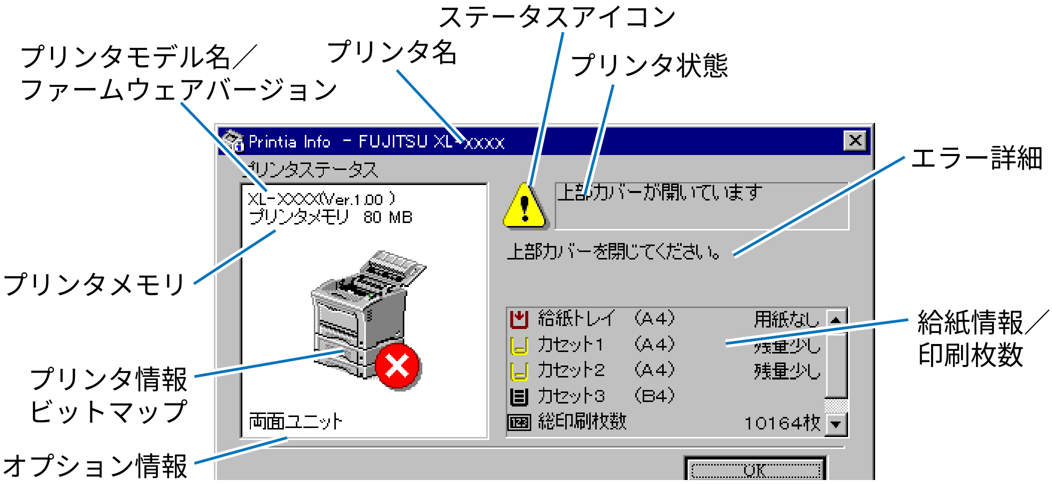
表示方法



※ 画面の例は〔用紙〕ダイアログです。

〔プリンタ状態表示〕をクリックします。
〔プリンタ状態表示〕は、〔用紙〕〔レイアウト〕〔グラフィックス〕〔印刷オプション〕〔装置オプション〕〔Printianavi〕の各ダイアログにあります。

画面の説明



プリンタ名 ………… プリンタにつけた名前（〔全般〕または〔情報〕ダイアログに表示される名前）を表示します。

プリンタモデル名／ファームウェアバージョン ………… プリンタ本体のモデル名とファームウェアのバージョンを表示します。

プリンタメモリ ………… プリンタに搭載されているメモリ容量を表示します。

プリンタ情報ビットマップ …… プリンタモデルや給紙口、状態に応じたビットマップを表示します。

オプション情報 ………… プリンタに装着されているオプションの情報を表示します。

ステータスアイコン ………… プリンタの状態をアイコンで表示します。

プリンタ状態 ………… プリンタの状態を文字で表示します。

エラー詳細 ………… プリンタ状態の詳細やトナーの残りが少ないなどの警告、エラーの対処方法を表示します。

給紙情報／印刷枚数 ………… 給紙カセット情報、総印刷枚数、および電源投入後の印刷枚数を表示します。(両面印刷時は、表／裏を各１枚としてカウントします。)

ステータスウィンドウを閉じるには、〔OK〕をクリックします。

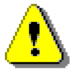
ガイド

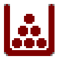
・ステータスウィンドウで「給紙トレイ」と表示される給紙口は、〔用紙〕ダイアログの「給紙方法」の「手差し」と対応しています。

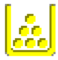
・表示されるアイコンの種類と意味は、次のとおりです。

ステータスアイコン


正常


エラー


(暗い赤色)
カートリッジエラー


(黄色)
トナー少


紙詰まり


ハードエラー


カセットエラー


用紙なし

給紙情報


(黒)
用紙あり


(黄色)
用紙残量少し(＊)


(暗い赤色)
用紙なし


(暗い赤色)
カセットエラー


(グレー)
情報未取得

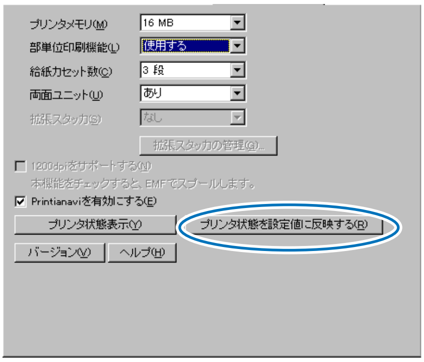
(＊)XL-5330 では「用紙残量少し」は表示されません。

プリンタの状態を設定値に反映する

ここでは、プリンタに装着されたメモリや給紙カセットの段数などを、Printianaviを利用してプリンタドライバの設定値に反映する操作について説明します。

ガイド

プリンタの状態を設定値に反映するには、Printianavi が有効になっている必要があります。（「Printianavi を有効にする」（4 ページ）参照）
また、プリンタドライバと実際に接続されているプリンタのモデルが同じであることが必要です。モデルが異なる場合は、設定を反映できません。



1 〔装置オプション〕ダイアログで、〔プリンタ状態を設定値に反映する〕をクリックする

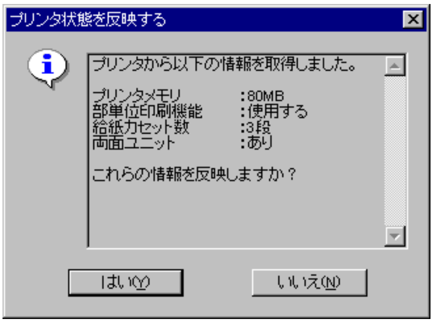
（画面の例はWindows 95/98/Me の場合です。）

※左記の画面は、XL-5340 の画面です。



2 「通信中です...」というダイアログが表示される

中止するときは、〔キャンセル〕をクリックしてください。



3 〔はい〕をクリックする

取得した情報が〔装置オプション〕ダイアログの各設定値に反映されます。設定値に反映したくないときは、〔いいえ〕をクリックしてください。

印刷ログ機能

「印刷ログを残す」がチェック（初期値は残す）されていると、印刷時の最後の状態が保存され、印刷を行ったユーザが参照することができます。この機能により、ユーザは印刷が終了してから時間が経過しても自分の印刷物がいつ、どこに印刷されたかを確認できます。

ガイド

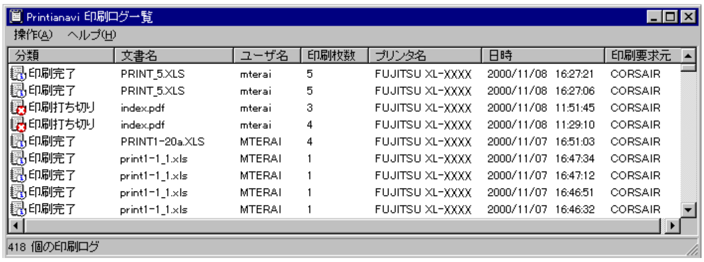
・印刷ログは各メッセージ（ステータス表示、印刷完了通知）の表示先にバイナリファイルとして格納されます。（表示先は、プリンタのプロパティのPrintianaviタブ内のオプションでステータスの表示先が示すパソコンです。）
・パソコン１台につき、印刷ログファイルは１個となります。（複数のプリンタが設定されている場合は、複数のプリンタのログが１ファイルに格納されます。）
・プリンタのプロパティの〔Printianavi〕ダイアログ内のオプションで「System Walker/PrintMGRと連携する」がチェックされている場合、印刷ログ採取は行いません。

印刷ログビューア

「印刷ログ一覧」を表示させるには「印刷ログビューア」を起動します。「印刷ログビューア」を起動するには、〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V5.1〕〔Printianavi 印刷ログビューア〕の順に選択します。

印刷ログ一覧

このコンピュータで行われた印刷のログを表示します。



分類 .... ログの分類を表示します。表示内容は以下のとおりです。
　印刷完了・印刷打ち切り・エラー表示・保留

文書名 .... 印刷を行った文書名を表示します。

ユーザ名 .... 印刷を行ったユーザ名を表示します。

印刷枚数 .... 印刷完了枚数を表示します。ただし、印刷完了枚数が不確定の場合は空白となります。

プリンタ名 .... 印刷先のプリンタ名を表示します。

日時 .... ログが採取された日時を表示します。

印刷要求元 .... 印刷を行ったコンピュータ名を表示します。

ガイド

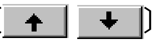
印刷ログを採取しない場合は、プリンタドライバの〔Printianavi〕ダイアログの〔オプション〕をクリックし、「印刷ログを残す」のチェックをはずしてください。

印刷ログ情報表示

以下の２通りの方法により印刷ログ情報が表示されます。

・印刷ログ一覧で、情報を表示したいログをダブルクリックする
・印刷ログ一覧の〔操作〕メニューから「ログ情報表示」を選択する



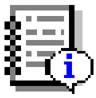
※〔〕をクリックすると、印刷ログ一覧の情報を順次見ることができます。

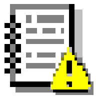
発生日時 .... ログが採取された日時を表示します。
プリンタ名............ 印刷先のプリンタ名を表示します。
分類 .... ログの分類を表示します。表示内容は以下のとおりです。
印刷完了・印刷打ち切り・エラー表示・保留
ユーザ名 .... 印刷を行ったユーザ名を表示します。
文書名 .... 印刷を行った文書名を表示します。
印刷完了ページ .... 印刷完了ページ数を表示します。
ページ数の後に“ ※要確認 ”が表示されている場合には、実際の印刷完了ページ数と異なる場合があります。
印刷完了枚数 .... 印刷完了枚数を表示します。
印刷完了ページの後に“ ※要確認 ”が表示されている場合には、実際の印刷完了枚数と異なる場合があります。
排紙先 .... 用紙の排出先を表示します。
印刷要求元............ 印刷を行ったコンピュータ名を表示します。

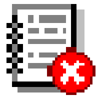
印刷ログ情報表示を閉じるには〔OK〕をクリックします。

ガイド 表示されるアイコンの種類と意味は次のとおりです。

ステータスアイコン

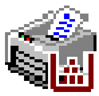

印刷完了


警告

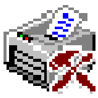

印刷打ち切り

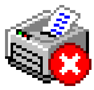

用紙交換


用紙なし


カートリッジなし


用紙詰まり


ハードエラー


その他のエラー

印刷ログビューアの環境設定

印刷ログ一覧画面の〔操作〕メニューから「環境設定」を選択すると、印刷ログビューアの環境設定を行うことができます。



最大ログサイズ………………… ログファイルの最大サイズを示します。5〜32767KB設定できます。初期値は50KBです。

ログの名前………………………… ログファイルの格納先とログファイル名を示します。

ガイド
- Windows NT4.0 の場合、管理者権限でログオンしてください。
  管理者権限以外でログオンした場合はグレーアウトされ、環境設定できません。
- Windows 2000 の場合は、PowerUsers グループ権限のユーザでも設定できます。

第2章

Printianavi ネットワークポートモニタ −ポートの設定−

Printianavi ネットワークポートモニタは、LAN（TCP/IP）に接続したプリンタに、パソコンから直接印刷できるようにしたり、IPP（Internet Printing Protocol）によりインターネットに接続されたプリンタに印刷できるようにします。この章では、Printianavi ネットワークポートモニタの使いかたについて説明します。

※ 本章の中では、Printianavi ネットワークポートモニタを「ネットワークポートモニタ」または「本ユーティリティ」と呼びます。

ポートの設定を行う

ポートの設定を行う方法として以下の２つの方法があります。
・プリンタのプロパティからの設定
・Printianavi ネットワークポート管理からの設定

ガイド　Printianavi ネットワークポートモニタのインストール方法については取扱説明書「第５章 ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの作成」を参照してください。

プリンタのプロパティからの設定

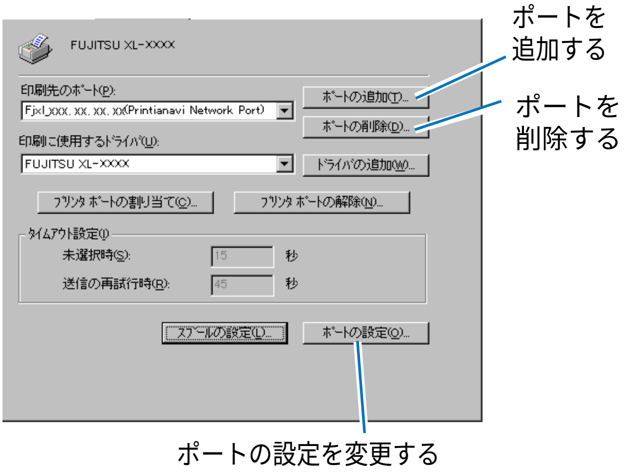
プリンタのプロパティから本ユーティリティを起動する方法を、Windows 95/98/Me/2000/NT4.0 それぞれの場合について説明します。

Windows 95/98/Me のとき

1 ***〔スタート〕から、〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する***



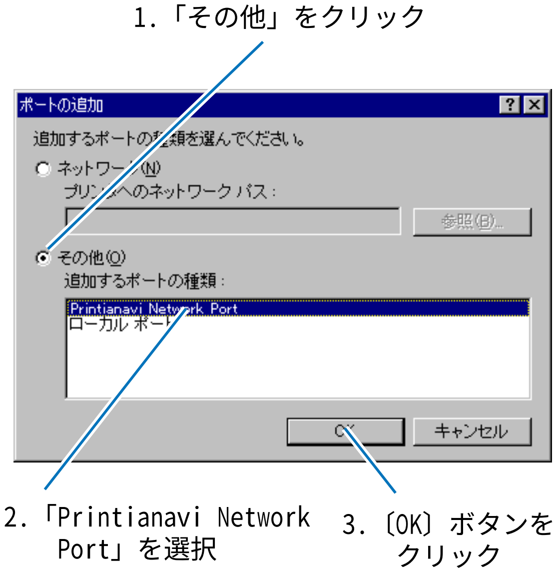
2 ***該当するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから、〔プロパティ〕を選択する***



3 ***〔詳細〕タブをクリックし、目的の機能のボタンをクリックする。***

ポートの追加

〔詳細〕ダイアログで〔ポートの追加〕をクリックすると、〔ポートの追加〕ダイアログボックスが表示されます。



「その他」をクリックし、「追加するポートの種類」の一覧から「Printianavi Network Port」を選択して〔OK〕をクリックします。

続いて、ポートに関する設定を行います。設定項目の詳細については、「ポートに関する設定項目」（30 ページ）を参照してください。

ポートの削除

〔詳細〕ダイアログで〔ポートの削除〕をクリックすると、〔ポートの削除〕ダイアログボックスが表示されます。



「Printianavi Network Port」を選択し、〔OK〕をクリックします。

ガイド

〔ポートの削除〕は、そのポートを印刷先のポートに設定しているプリンタがないことを確認してから実行してください。
削除したいポートを印刷先に設定しているプリンタがある場合は、ポートは削除できませんので、印刷先を他のポートに変更してから実行してください。
なお、ポート削除後に同じ名前のポートを追加する場合は、パソコンを再起動してから行ってください。

ポートの設定

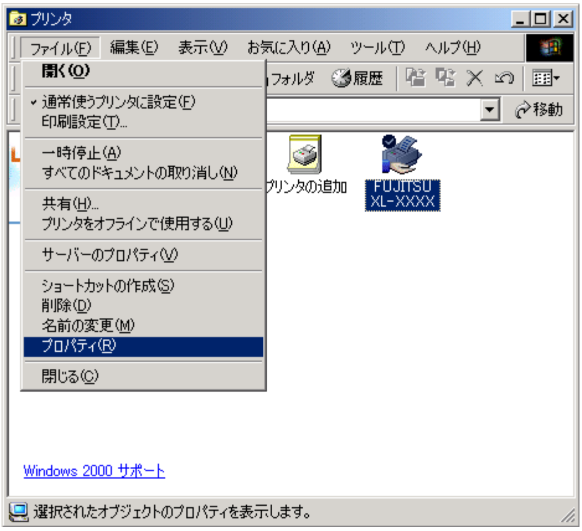
「印刷先のポート」の一覧の右側の「▼」をクリックすると、ポートの一覧が表示されます。ここから、設定を変更するポートを選択し、〔ポートの設定〕をクリックすると、〔ポートの設定〕ダイアログボックスが表示されます。

〔ポートの設定〕をクリックしたときに設定できる項目については、「ポートに関する設定項目」（30 ページ）を参照してください。

Windows 2000 のとき

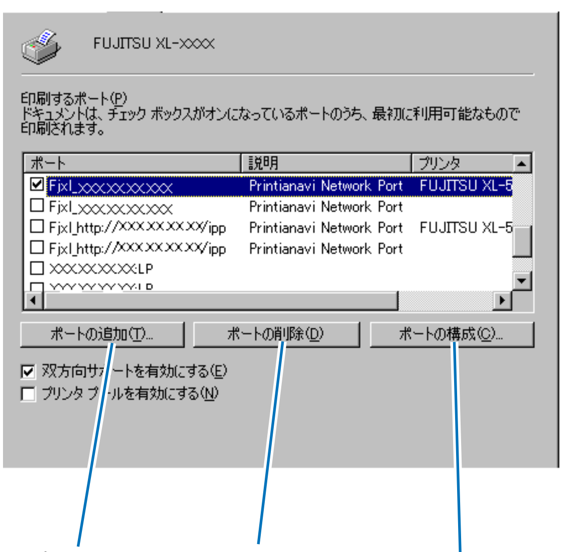
管理者権限でログオンし、以下の操作を行います。

1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する



2 該当するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する

3 〔ポート〕タブをクリックし、目的の機能のボタンをクリックする



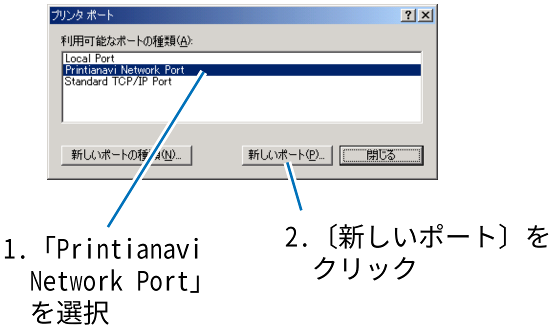
ポートを
追加する

ポートを
削除する

ポートの設定を
変更する

ポートの追加

〔ポート〕ダイアログで〔ポートの追加〕をクリックすると、〔プリンタポート〕ダイアログボックスが表示されます。

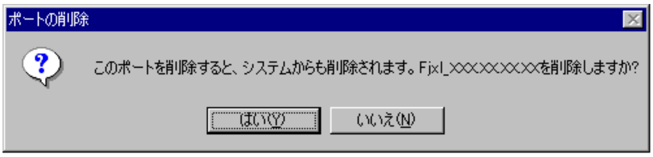


「利用可能なポートの種類」の一覧から「Printianavi Network Port」を選択し、〔新しいポート〕をクリックします。

続いて、ポートに関する設定を行います。設定項目の詳細については、「ポートに関する設定項目」（30 ページ）を参照してください。

ポートの削除

〔ポート〕ダイアログの「印刷するポート」の一覧から「Printianavi Network Port」を選択して「ポートの削除」をクリックします。



削除してよければ、〔はい〕をクリックします。

ガイド　〔ポートの削除〕は、そのポートを印刷先に設定しているプリンタがないことを確認してから実行してください。削除したいポートを印刷先に設定しているプリンタがある場合は、ポートは削除できませんので、印刷先を他のポートに変更してから実行してください。

ポートの構成

〔ポート〕ダイアログの「印刷するポート」の一覧から、設定を変更するポートを選択し、〔ポートの構成〕をクリックします。

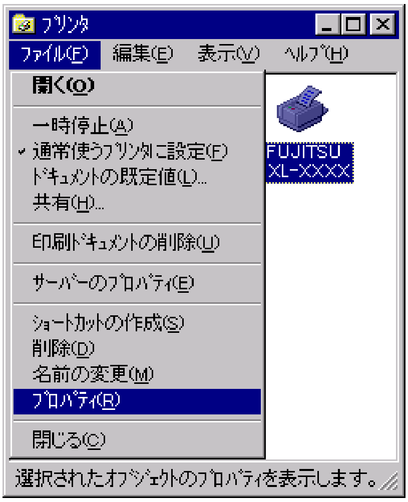
〔ポートの構成〕をクリックしたときに設定できる項目については、「ポートに関する設定項目」（30 ページ）を参照してください。

Windows NT4.0 のとき

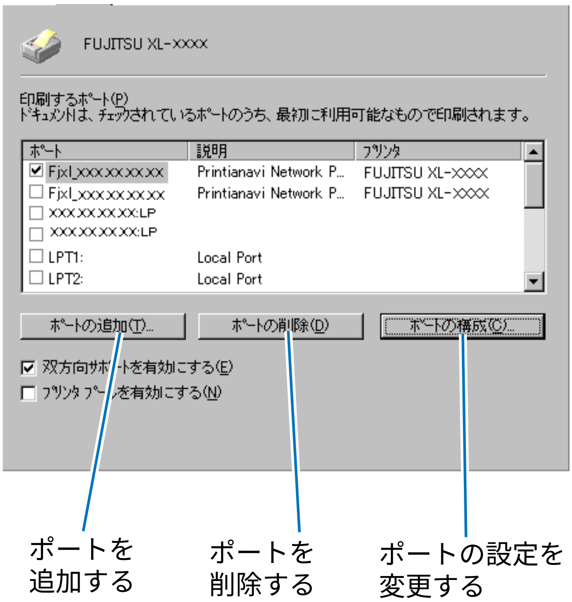
管理者権限でログオンし、以下の操作を行います。

1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択する

2 該当するプリンタをクリックし、〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する

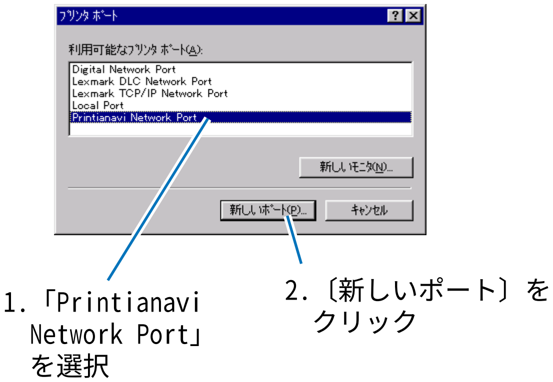


3 〔ポート〕タブをクリックし、目的の機能のボタンをクリックする



ポートの追加

〔ポート〕ダイアログで〔ポートの追加〕をクリックすると、〔プリンタポート〕ダイアログボックスが表示されます。



「利用可能なプリンタポート」の一覧から「Printianavi Network Port」を選択し、〔新しいポート〕をクリックします。

続いて、ポートに関する設定を行います。設定項目の詳細については、「ポートに関する設定項目」（30 ページ）を参照してください。

ポートの削除

〔ポート〕ダイアログの「印刷するポート」の一覧から「Printianavi Network Port」を選択して〔ポートの削除〕をクリックします。



削除してよければ、〔はい〕をクリックします。

ガイド

〔ポートの削除〕は、そのポートを印刷先に設定しているプリンタがないことを確認してから実行してください。削除したいポートを印刷先に設定しているプリンタがある場合は、ポートは削除できませんので、印刷先を他のポートに変更してから実行してください。

ポートの構成

〔ポート〕ダイアログの「印刷するポート」の一覧から、設定を変更するポートを選択し、〔ポートの構成〕をクリックします。

〔ポートの構成〕をクリックしたときに設定できる項目については、「ポートに関する設定項目」（30 ページ）を参照してください。

Printianavi ネットワークポート管理からの設定

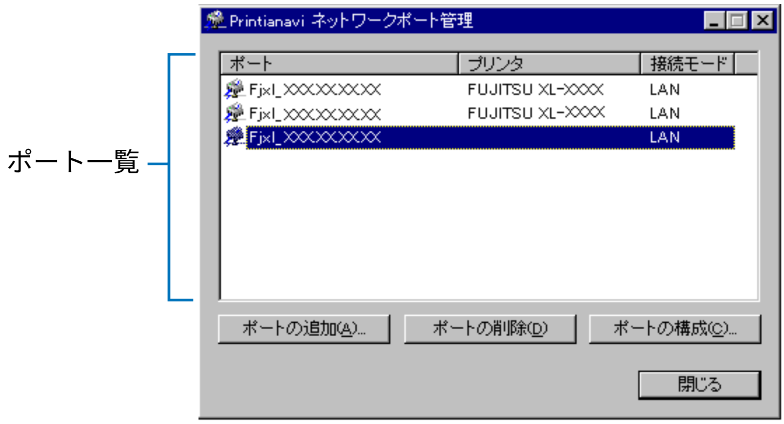
Printianavi ネットワークポート管理機能

Printianaviネットワークポート管理は、Printianaviネットワークポートの追加／削除／変更を行う管理ツールです。
なお、本機能を利用する場合、OS が Windows 2000/NT4.0 の場合は管理者権限でログオンしてください。

Printianavi ネットワークポート管理の起動方法

〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V5.1〕〔ネットワークソフトウェア〕〔Printianavi ネットワークポート管理〕を選択します。

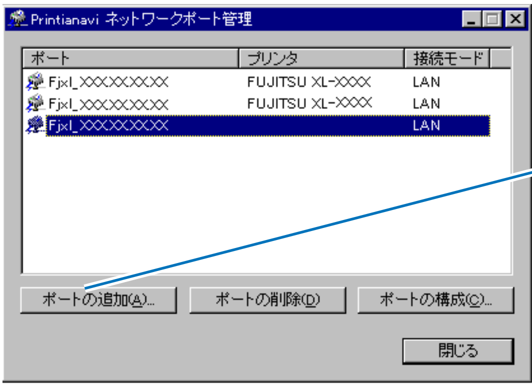
ネットワークポート管理画面



構成

ポート .... ポート名
プリンタ .... そのポートが接続されているプリンタ名。複数の場合には「,」で区切ります。
接続モード .... ポートの接続モードが表示されます。（LAN または IPP）

ポートの追加

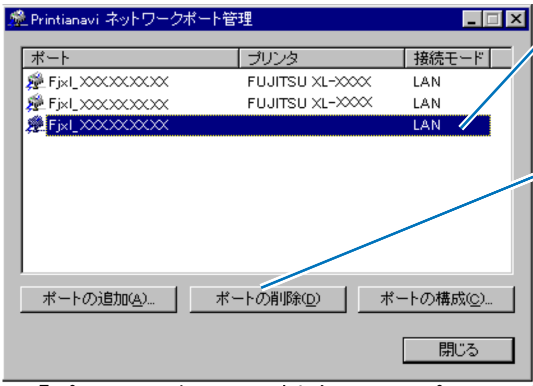


〔ポートの追加〕をクリックする

※　「ポート一覧」内でマウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューから「ポートの追加」を選択することもできます。

続いてポートに関する設定を行います。設定項目の詳細については、「ポートに関する設定項目」（30 ページ）を参照してください。

ポートの削除



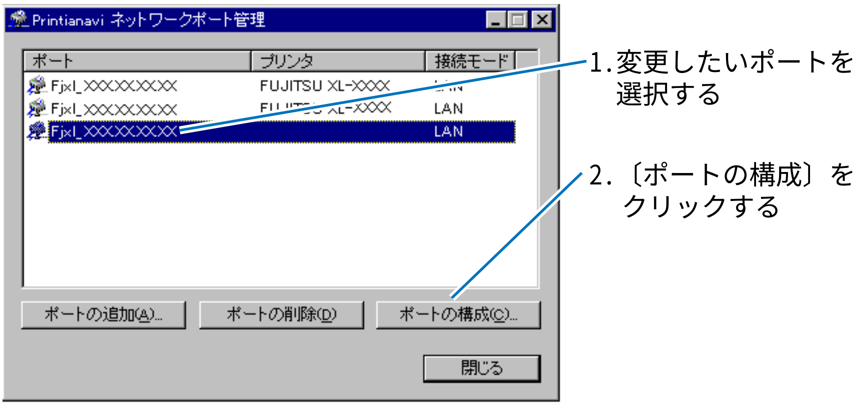
1. 削除したいポートを選択する
2. 〔ポートの削除〕をクリックする

※　「ポート一覧」から削除したいポートを選択し、マウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューから「ポートの削除」を選択することもできます。

ガイド

〔ポートの削除〕は、そのポートを印刷先のポートに設定しているプリンタがないことを確認してから実行してください。
削除したいポートを印刷先に設定しているプリンタがある場合は、ポートを削除できません。(〔ポートの削除〕はクリックできません。)印刷先を他のポートに変更してから実行してください。
なお、Windows 95/98/Me を使用していて、ポート削除後に同じ名前のポートを追加する場合は、パソコンを再起動してから行ってください。
Ctrl キーを押しながらポートを選択すると、複数のポートを選択することができます。
Shiftキーを押しながらポートを選択すると、範囲で選択することができます。

ポートの変更



※「ポート一覧」からポートを選択し、マウスの右ボタンをクリックして表示されるメニューから「ポートの構成」を選択することもできます。

続いてポートに関する設定を行います。設定項目の詳細については、「ポートに関する設定項目」（30 ページ）を参照してください。

ポートに関する設定項目

ポートに関する設定項目について説明します。

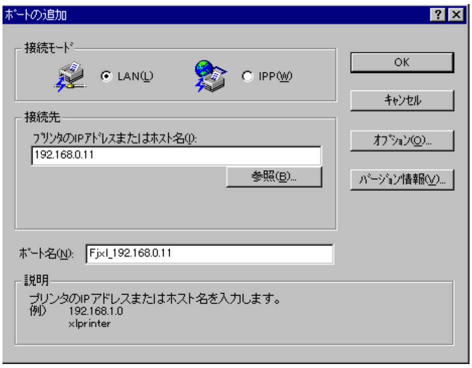
ポートの設定画面

システム上にPrintianaviネットワークポートモニタを使用するポートを定義するのに必要な情報を設定することができます。

ガイド

ポートの選択は使用する環境に合ったプロトコルを選択してください。IPP はインターネットに接続されたプリンタに印刷を行うときに選択してください。それ以外のときはLAN を選択することをおすすめします。

〔LAN を選択した場合〕



〔IPP を選択した場合〕



〔接続モード〕

LAN の場合

接続先.................. プリンタ装置の IP アドレス、またはネットワーク上のホスト名を設定します。
IP アドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。
(各 XXX は 0 ～ 255 の範囲の半角数字)
ホスト名はネットワーク上で定義されているプリンタ装置のホスト名を指定します。(半角 255 文字または全角 127 文字以内)

参照 .... ネットワーク上に接続されている XL プリンタ装置を一覧画面に表示します。この画面で選択された IP アドレスを反映します。
(「プリンタの検索」（34 ページ）参照)

IPP の場合

接続先.................. プリンタ装置の URL を設定します。URL は、「http://AAA:BBB/CCC」の形式で指定します（半角 63 文字または全角 31 文字以内）。
なお、「http://」を入力する必要はありません。
「AAA」はプリンタ装置の IP アドレス、またはホスト名（ドメイン名を付加したものを含む）です。
「:BBB」は IPP によるインターネット印刷を行う場合に使用するポート番号で 631 または 80 が設定できます。通信する環境に応じて設定します。
「:BBB」は省略できます。その場合は「:631」が指定されたものとみなします。
「CCC」はプリンタで設定された IPP プリンタ名となります。
　設定例：http://192.168.0.1:631/ipp
なお、「▼」をクリックすることにより過去に入力したURLが一覧表示され、その中から選択することもできます。
URL は Printia LASER Internet Service を使って確認しておきます。確認方法は「第 4 章 Printia LASER Internet Service」（73 ページ）を参照してください。

接続確認 .... 指定されたプリンタ装置が接続されていることを確認できます。(「接続確認画面」(40ページ)参照)

プロキシサーバを使用する .... プロキシサーバを経由して印刷を行う場合に選択します。設定方法については「プロキシサーバの設定」（39 ページ）を参照してください。

〔ポート名〕...................... システムに登録する任意のポート名を設定します。半角 63 文字または全角 31 文字以内で指定します。
設定しなかった場合は以下の情報に「Fjxl_」を付加したものをポート名として自動生成します。
LAN の場合　：プリンタの IP アドレスまたはホスト名入力域の設定情報
IPP の場合　：プリンタの URL の入力域の設定情報

〔オプション〕.................. プリンタ装置との通信に必要な情報を設定する画面を表示します。(「オプションの設定」(33 ページ)参照)

〔バージョン情報〕.......... 本ユーティリティのバージョン情報を表示します。

ガイド

- ポートの設定画面のタイトルバーは〔ポートの追加〕を選択している場合は「ポートの追加」、〔ポートの構成〕を選択している場合は「ポートの設定」と表示されます。なお、ポートの設定画面では、「ポート名」入力域はグレーアウトされます。
- 〔参照〕で検索するプリンタは電源が入った状態で正しくネットワークに接続されていることが必要です。また、IP ルータを超えたところに接続されたプリンタを検索する場合には検索範囲の設定を追加してください。(「検索範囲の設定」(35 ページ)参照)
- 〔ポート名〕には「\」「,」(カンマ)および先頭が半角空白を含む名前は指定できません。
- Windows 95/98/Me の場合、既存のポート名を含む名前(既存：Fjxlpm、追加：Fjxlpml)、あるいは既存のポート名に含まれる名前(既存：Fjxlpml0、追加：Fjxlpml)は指定できません。

LAN の詳細設定および検索機能

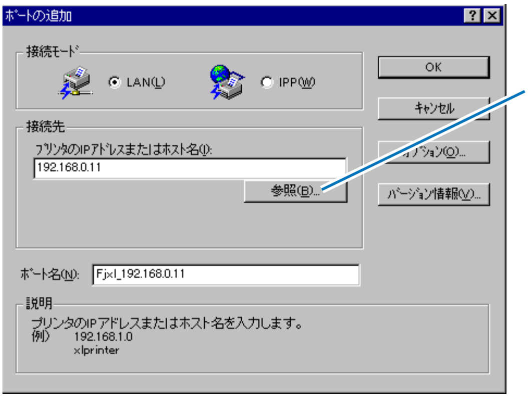
オプションの設定



ポート番号	プリンタとの通信で使用するポート番号を指定します。 通常は、標準値の 9313 のままにします。 変更する場合は、プリンタ側の設定（ポート番号１)と同じ値にしてください。
プリンタタイムアウト...... 監視時間	プリンタ装置からの応答待ち合わせ時間を設定します。 半角数字で 60 ～ 7200[秒]の範囲内で指定します。 ここで指定された時間内にプリンタ装置から応答がない場合には、ネットワークが切断されたとみなし、エラーを通知します。 標準値は 300 秒です。
標準に戻す	この画面での設定値を次の設定に戻します。 ポート番号　：9313 プリンタタイムアウト監視時間 　　　　　　：300 秒 プリンタの IP アドレス変更を自動認識する 　　　　　　：チェックあり
プリンタの IP アドレス .... 変更を自動認識する	この項目がチェックされた状態のときは、プリンタとの通信異常を検出すると、ネットワークに接続された XL プリンタを検索します。そして、XL プリンタの IP アドレスが変更された場合には変更後のIPアドレスを自動認識し、プリンタとの通信を続行します。 なお、IP アドレスの変更以外で通信異常となっている場合（プリンタの電源が入っていないなど）は、〔プリンタ検索範囲〕で設定した「タイムアウト時間」の分、エラーが通知されるまでに時間がかかります。
プリンタ検索範囲..........	ネットワークに接続された XL プリンタの検索範囲を設定する画面を表示します。（「検索範囲の設定」（35 ページ）参照）

プリンタの検索

プリンタの検索は、ポートの設定画面から次の手順で行います。

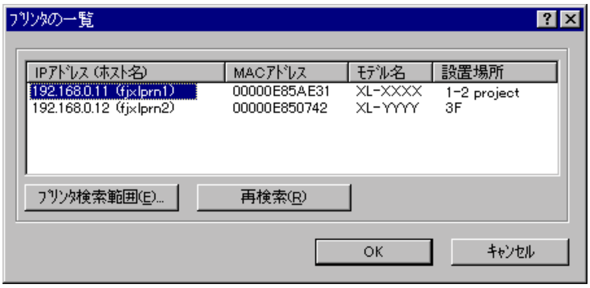


1　〔参照〕をクリックする

ここをクリックする



〔プリンタの検索〕ダイアログが表示され、検索範囲内のネットワークに接続されたプリンタを検索します。



2　印刷先に指定するプリンタを選択し、〔OK〕をクリックする

ポートの設定画面の「プリンタのIPアドレスまたはホスト名」に、選択したプリンタのIPアドレスが自動入力されます。

ガイド プリンタが見つからなかったときは、次の手順で再度検索してください。

1　プリンタがネットワークに正しく接続されているか確認する

プリンタの電源が入っているか、ネットワークケーブルが接続されているか、IP アドレスが正しく設定されているかなどを確認してください。

2　検索範囲が正しく設定されているか確認する

IP ルータを超えたところに接続されたプリンタを検索する場合は、検索範囲の設定を追加する必要があります。〔プリンタの一覧〕ダイアログの〔プリンタ検索範囲〕をクリックして、検索範囲が正しく設定されているか確認します。「検索範囲の設定」の手順３（36 ページ）からの操作を行ってください。

3　〔プリンタの一覧〕ダイアログの〔再検索〕をクリックして再検索を行う

検索範囲の設定

プリンタの検索範囲の設定は、ポートの設定画面から次の手順で行います。



1　〔オプション〕をクリックする

ここをクリックする



2　〔プリンタ検索範囲〕をクリックする

ここをクリックする



3　検索範囲を設定する

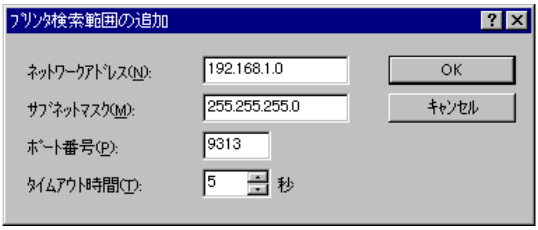
設定済みの検索範囲の一覧が表示されます。次のいずれかの操作を行います。

追加 ……………………………… 検索範囲を追加します。IPルータを超えたところに接続されたプリンタの検索範囲を追加してください。
変更 ……………………………… 一覧から選択した検索範囲の設定内容を変更します。
削除 ……………………………… 一覧から選択した検索範囲を削除します。
標準に戻す …………………… 選択範囲を次の設定のみに戻します。

ネットワークアドレス：***. ***. ***. ***
サブネットマスク：***. ***. ***. ***
ポート番号　：9313
タイムアウト時間：5 秒

〔追加〕〔変更〕の操作を行ったときは手順４に、〔削除〕〔標準に戻す〕の操作を行ったときは、手順５に進んでください。

ガイド　初期値として設定されている「***. ***. ***. ***」の検索範囲は、設定を行うパソコンと同一ネットワークセグメント上のプリンタを検索するためのもので、削除することはできません。ポート番号とタイムアウト時間のみ変更可能です。



4　ネットワークアドレスおよびサブネットマスクを入力する

プリンタを検索するネットワーク上の範囲を示すIPアドレスとサブネットマスクを、半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で入力します。設定値については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

ポート番号 .... 初期値は9313です。通常は変更の必要はありませんが、プリンタ側の設定（ポート番号２）に合わせてください。

タイムアウト時間.......... 検索時にプリンタからの応答を待ち合わせる時間を設定します。初期値は５秒です。

ガイド　オプションの設定で、「プリンタのIP アドレス変更を自動認識する」がチェックされているときは、プリンタの電源が入っていないなどで通信異常を検出した際にもプリンタの検索を行うため、タイムアウト時間の分、エラーが通知されるまでに時間がかかります。

入力が終わったら、〔OK〕をクリックします。



5　検索範囲が正しく設定されたことを確認して、〔OK〕をクリックする

〔プリンタ検索範囲〕をクリックした画面に戻ります。

IPP の詳細設定および接続確認機能

オプションの設定

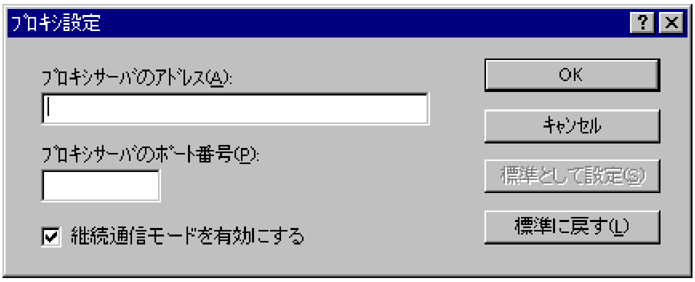


プリンタタイムアウト監視時間 ...... プリンタ装置からの応答待ち合わせ時間を設定します。
半角数字で 60 ～ 7200[秒]の範囲内で指定します。
ここで指定された時間内にプリンタ装置から応答がない場合には、ネットワークが切断されたとみなし、エラーを通知します。
標準値は 300 秒です。

標準に戻す .... この画面での設定値を次の設定に戻します。
プリンタタイムアウト監視時間：300 秒

プロキシサーバの設定

ポートの設定画面の「プロキシサーバを使用する」をチェックし、〔プロキシ設定〕をクリックし、HTTP アクセスに必要なサーバ名とポート番号を入力します。



プロキシサーバのアドレス	プロキシサーバのネットワーク上のホスト名、または IP アドレスを設定します。 IP アドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。（各 XXX は 0 ～ 255 の範囲の半角数字で指定します。）
プロキシサーバのポート番号	プロキシサーバのポート番号を指定します。 ポート番号は、半角数字で 1 ～ 65535 の範囲内で指定します。
継続通信モードを有効にする	プロキシサーバによっては、継続通信モードにすると正しく印刷できない場合があります。プリンタの接続確認はできているが、印刷時に通信エラーとなったり、印刷データがプリンタに送信されないなど、印刷がうまく行えない場合は、チェックを外すと正常に印刷できる場合があります。
標準として設定	上記で設定した値を標準として設定します。
標準に戻す	この画面での設定値を次の設定に戻します。 プロキシサーバのアドレス／ポート番号 :「標準として設定」で設定した値（初期値は空白）

ガイド 印刷先に指定するプリンタがプロキシサーバを使用する必要があるか、プロキシサーバのアドレス等は、ネットワーク管理者へおたずねください。

接続確認画面

ポートの設定画面で〔接続確認〕をクリックすると指定された URL を元にインターネットに接続された XL プリンタ装置の接続状態を確認します。

〔確認処理中〕画面



〔指定プリンタの接続確認ができた場合〕



〔プリンタの接続確認はできたが、XLシリーズでなかった場合〕



〔指定したプリンタおよび接続されたプリンタの確認ができなかった場合〕



お願い

IPP で印刷を行う場合、XL シリーズ以外の IPP 対応プリンタで接続確認が行える場合でも印刷は保証されません。Printianaviネットワークポートモニタでの IPP 印刷は、XL シリーズの IPP 対応プリンタへ印刷するときのみご使用ください。

第3章

Printianavi マネージャ

Printianavi マネージャは、ローカル、LAN接続、IPP 接続、およびサーバ共有の Printianavi 対応XLプリンタの情報参照や環境設定などを、パソコンから行えるようにします。この章では、Printianavi マネージャの使い方について説明します。

Printianavi マネージャの使いかた

Printianaviマネージャを起動し、情報表示や各設定を行う操作について説明します。

ガイド　Printianavi マネージャのインストール方法については、取扱説明書の「第５章 ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの作成」を参照してください。

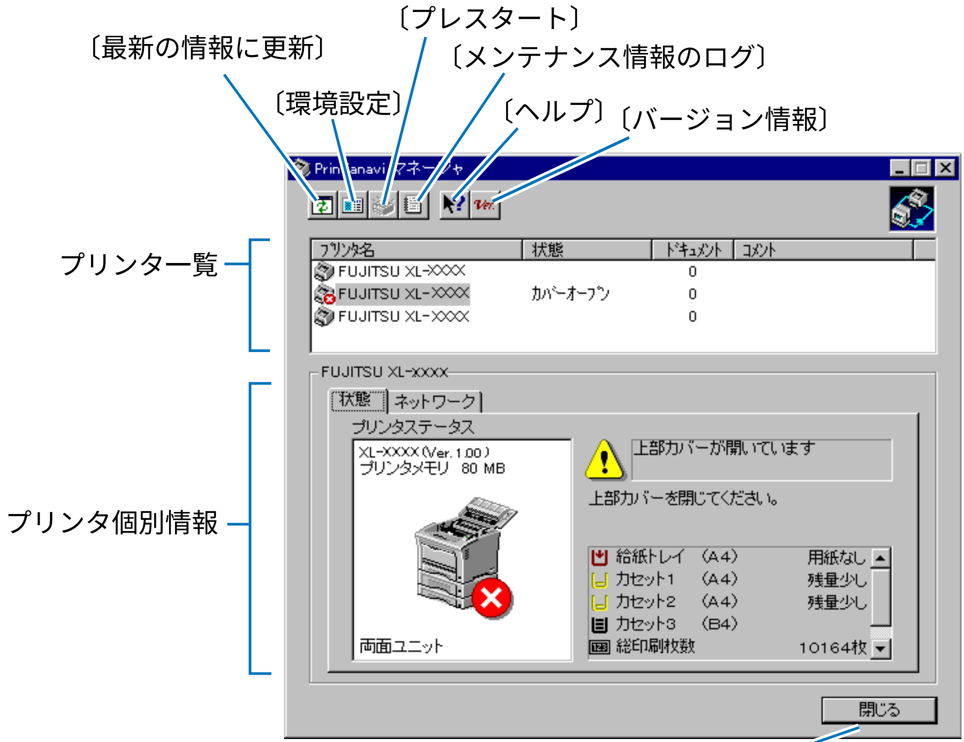
Printianavi マネージャを起動する

Printianavi マネージャを起動するには、次の２つの方法があります。

- インストール時に〔スタートアップに登録〕した場合、Windows 起動時に最小化された状態で起動される
- 〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V5.1〕〔ネットワークソフトウェア〕〔Printianavi マネージャ〕の順に選択する

画面の説明

Printianavi マネージャを起動すると、次のような画面が表示されます。



〔閉じる〕ボタン：
Printianaviマネージャを終了します。

ガイド　〔ネットワーク〕／〔メンテナンス情報のログ〕は、管理者機能をインストールしたときのみ表示されます。

プリンタ一覧

Windows 上に定義されたプリンタの一覧および状態を表示します。(「プリンタ一覧」（47 ページ）参照)

また、通常使うプリンタの指定やプリントスプーラの一時停止／印刷再開も行うことができます。(「プリントスプーラを操作する」(50ページ)参照)

プリンタ個別情報

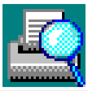
プリンタ一覧で選択したプリンタの詳細情報を表示します。

〔状態〕........................ プリンタの状態や情報を表示します。(「プリンタ個別情報（〔状態〕)」（48 ページ）参照)

〔ネットワーク〕........ プリンタのネットワーク環境の表示、設定を行います。(「プリンタ個別情報（〔ネットワーク〕)」(51 ページ）参照)

最小化時の表示

Printianaviマネージャで〔タイトルバー〕の〔最小化ボタン〕( )をクリックすると、タスクトレイのアイコンでプリンタの監視状況を表示します。

アイコン	説　明
	プリンタを監視していません。　＊１
	プリンタを監視しています。　＊２
 	メンテナンス情報メッセージがあります。　＊３
	メンテナンス情報を更新しました。　＊３

＊１〔環境設定〕で「最小化時にも情報更新する」をチェックしていない場合（詳細は、ツールバーの環境設定（44 ページ）参照)

＊２〔環境設定〕で「最小化時にも情報更新する」をチェックしている場合（詳細は、ツールバーの環境設定（44 ページ）参照)

＊３ メンテナンス情報については 62 ページで詳しく説明しています。

ガイド アイコン上で左ボタンをダブルクリックするとPrintianaviマネージャをポップアップ表示します。
右ボタンをクリックするとポップアップメニューが表示されます。目的に合わせ選択してください。

〔元のサイズに戻す〕................ Printianavi マネージャをポップアップ表示します。

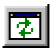
〔メンテナンスログの表示〕.... メンテナンスログを表示します。
※このアイコンはプリンタ管理機能をインストールしたときのみ表示されます。

〔環境設定〕............................... 環境設定画面をポップアップ表示します。

〔終了〕...................................... Printianavi マネージャを終了します

ツールバー

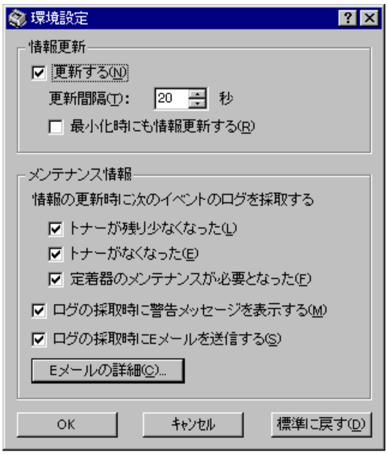
ツールバー上の各ボタンの機能について説明します。

 最新の情報に更新...... クリックすると、プリンタ一覧、プリンタ個別情報の〔状態〕、および〔ネットワーク〕の情報を最新に更新します。

 環境設定 .... クリックすると、次の環境設定画面を表示します。



〔プリンタ状態表示機能のみインストールした場合の画面〕



〔プリンタ管理機能をインストールした場合の画面〕

更新する .... プリンタ一覧および〔状態〕の更新を行う場合にチェックします。この設定がチェックされている場合のみ、以下の「更新間隔／最小化時にも情報更新する」の設定変更が可能となります。

更新間隔 .... プリンター覧および〔状態〕の更新間隔を設定します。
設定範囲：5秒～999秒
初期値　：20秒

最小化時にも情報更新する
.... Printianaviマネージャを最小化した状態でプリンタ一覧および〔状態〕の更新を行う場合にチェックします。
初期値　：更新しない

トナーが残り少なくなった
.... プリンタのトナーが残り少なくなったことを示すログを採取したい場合にチェックします。
初期値　：取得する

トナーがなくなった
.... プリンタのトナーがなくなったことを示すログを採取したい場合にチェックします。
初期値　：取得する（XL-6700のみの機能）

定着器のメンテナンスが必要となった
.... プリンタの定着器のメンテナンスが必要となったことを示すログを採取したい場合にチェックします。
初期値：取得する（XL-5330/5340/5730/6100のみの機能）

ログの採取時に警告メッセージを表示する
.... ログを採取するときに同時に警告メッセージを表示したい場合にチェックします。
初期値：表示する

ログの採取時にEメールを送信する
.... ログを採取するときに同時にEメールを送信したい場合にチェックします。
初期値：送信しない
Eメールの詳細設定については「Eメールで送信する」（64ページ）を参照してください。

ガイド

- プリンタ管理機能を使う場合は、ネットワークソフトウェアのインストールで「プリンタ管理者向けセットアップ」を選択するか、「カスタム」でプリンタ管理機能を選択してインストールします。
- インストール後にプリンタ管理機能を追加する場合には、〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V5.1〕〔ネットワークソフトウェア〕内の〔セットアップ〕を選択して起動されるセットアップにて「変更」を選択し、「カスタム」でプリンタ管理機能を選択して追加することができます。
- メンテナンス情報に関する詳細は「メンテナンス情報について」（62ページ）を参照してください。

プレスタート .... プリンター覧で選択されたプリンタのプレスタートを開始させることができます。プリンタがパワーセーブ状態になっていると、通常は印刷データがプリンタに送られてからウォームアップを開始します。このため、印刷前にこのボタンを使用するとあらかじめウォームアップさせておくことができます。（XL-6100 のみの機能）

メンテナンス情報のログ .... プリンタのトナーや定着器の警告情報を保存したり、ログを表示したり、テキストに保存したりするときにクリックします。
ただし、この機能はプリンタ管理機能をインストールした場合のみ表示されます。

ヘルプ .... クリックするとマウスカーソルの形状がヘルプ形式のものとなります。この状態で説明を表示したいフィールドをクリックすると、ヘルプを表示します。

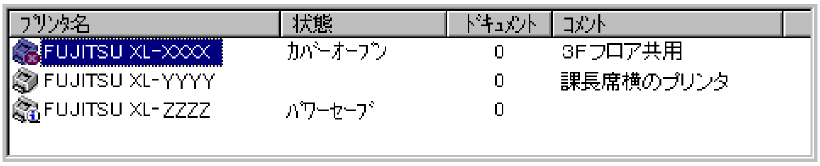
バージョン情報 .... バージョン情報を表示します。
バージョン情報表示画面の中をクリックすると、表示を終了します。



プリンタの状態や情報を表示する

プリンター覧

Windows上に定義されたプリンタのうち、XLプリンタの一覧を表示します。



ﾌﾟﾘﾝﾀ名	状態	ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ	ｺﾒﾝﾄ
FUJITSU XL-XXXX	ｶﾊﾞｰｵｰﾌﾟﾝ	0	3Fﾌﾛｱ共用
FUJITSU XL-YYYY		0	課長席横のﾌﾟﾘﾝﾀ
FUJITSU XL-ZZZZ	ﾊﾟﾜｰｾｰﾌﾞ	0	

ガイド

プリンター覧には、XLプリンタのうち、以下の条件を満たすもののみ表示されます。

・プリンタのプロパティで、双方向通信をするように設定されている。（Windows 95/98/Meのときは〔詳細〕ダイアログの「スプールの設定」、Windows 2000/NT4.0のときは〔ポート〕ダイアログ）

・印刷可能なポートのうち、設定されている印刷先ポートが以下でないこと

- ・FILE
- ・LPR（Windows 2000/NT4.0）
- ・Standard TCP/IP（Windows 2000）
- ・FM-LNA100
- ・FM-LNA110
- ・XL-LN100

また、Windowsでは同一ポートに複数のプリンタを定義することができますが、Printianaviマネージャで表示されるプリンタは混乱を避けるため、次のようにすることをおすすめします。

・実際に接続されていないプリンタを削除する

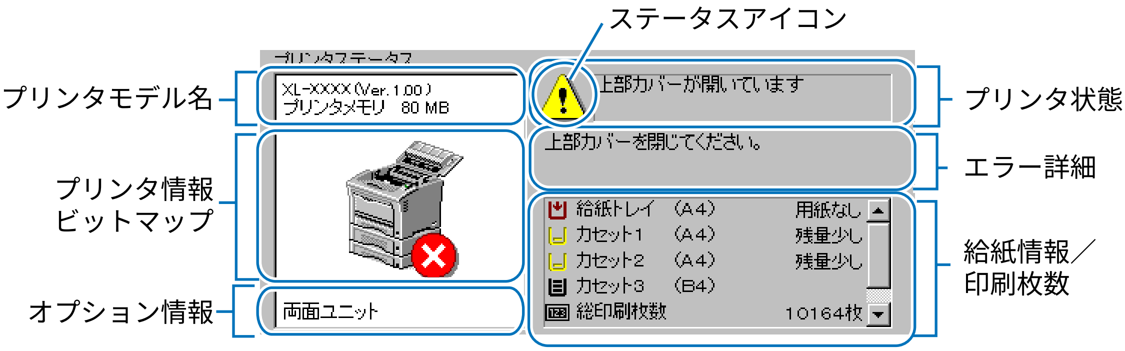
・実際に接続されていないプリンタの印刷先ポートをFILE:に変更し、Printianaviマネージャの管理対象から外す

プリンタ名 .... プリンタの状態を示すアイコンの横にプリンタ名が表示されます。
ここには、プリンタにつけた名前（〔スタート〕→〔設定〕→〔プリンタ〕で表示されるプリンタの名前）が表示されます。
また、この一覧で選択したプリンタは、プリンタ個別情報でさらに詳しい情報の参照や設定を行うことができます。

状態 .... プリンタの状態を表示します。
ドキュメント ..... Printianavi マネージャを起動したコンピュータから印刷を行い、印刷中または印刷待ち状態となっているドキュメントの数を表示します。（ネットワークプリンタの場合は、プリントサーバ上のスプーラ中に存在するドキュメントの数を表示します。）
コメント .... プリンタのプロパティで入力されたプリンタのコメントを表示します。

プリンタ個別情報（〔状態〕）

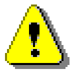
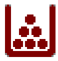
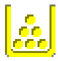
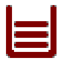
参照したいプリンタをプリンター覧から選択すると、詳細情報が〔状態〕に表示されます。
〔状態〕に表示される情報は、次のとおりです。



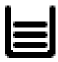
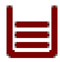
プリンタモデル名............. プリンタのモデル名、ファームウェアバージョン、メモリ容量を表示します。
プリンタ情報ビットマップ.... プリンタの状態をビットマップで表示します。
オプション情報................. プリンタに装着されているオプションの情報を表示します。
ステータスアイコン......... プリンタの状態をアイコンで表示します。
プリンタ状態 .... プリンタの状態を文字で表示します。
エラー詳細 .... エラーの詳細やリカバリ方法を表示します。
給紙情報／印刷枚数......... 給紙カセット情報、総印刷枚数、および電源投入後の印刷枚数を表示します。（両面印刷時は、表／裏を各１枚としてカウントします。）

ガイド　表示されるアイコンの種類と意味は、次のとおりです。

ステータスアイコン

		(暗い赤色)	(黄色)
正常	エラー	カートリッジエラー	トナー少
			
紙詰まり	ハードエラー	カセットエラー	用紙なし

給紙情報

(黒)	(黄色)	(暗い赤色)	(暗い赤色)
用紙あり	用紙残量少し(＊)	用紙なし	カセットエラー

(グレー)

情報未取得

(＊)XL-5330 では「用紙残量少し」は表示されません。

プリントスプーラを操作する

プリンター覧から操作するプリンタを選択し、マウスの右ボタンをクリックすると、次のようなメニューが表示されます。



各メニューの機能は、次のとおりです。

一時停止 .... スプーラの一時停止、印刷再開を行います。一時停止状態のときは、メニューの前にチェックマーク（√）が表示されます。

ガイド プリンタ操作を行う権限のないユーザでログオンした場合や、サーバ共有のプリンタに対しては一時停止の操作は行えません。

通常使うプリンタに設定 .....通常使うプリンタに設定します。通常使うプリンタに設定されているときは、メニューの前にチェックマーク（√）が表示されます。

ガイド 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、プリンタを選択して〔ファイル〕メニューから「通常使うプリンタに設定」を選んでも同じ設定になります。

プロパティ .... プリンタのプロパティを表示します。
ただし、表示 / 設定できるダイアログは限定されます。(Windows 95/98/Me/2000/NT4.0)
用紙、レイアウト、グラフィックス、印刷オプションなど、ここで設定した内容は、以下の設定に反映されます。

Windows 95/98/Me のときは「設定画面（プリンタのプロパティ）」
Windows 2000 のときは「設定画面（印刷設定）」
Windows NT4.0 のときは「設定画面（ドキュメントの既定値）」
設定画面の詳細については、取扱説明書を参照してください。

ガイド Windows 2000/NT4.0 のとき、プリンタ操作を行う権限のないユーザは、印刷設定（Windows NT4.0 はドキュメントの既定値）およびここで表示されるプロパティの内容は変更できません。

プリンタ管理機能の使いかた

ここでは、プリンタ管理機能をインストールしたときに行える情報表示や各設定の操作について説明します。
プリンタ管理機能をインストールすると、以下の３つの機能が追加されます。

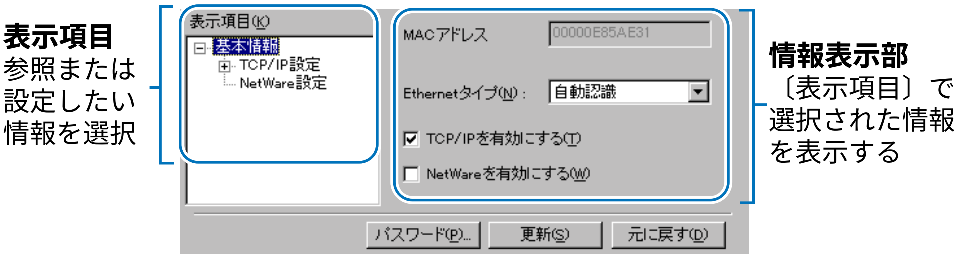
・ネットワーク設定機能
・メンテナンスログ機能
・メンテナンス情報設定機能

ネットワークの設定を行う

〔ネットワーク〕では、プリンタのネットワークに関する情報の参照や設定を行うことができます。
プリンタ一覧で設定または参照したいプリンタを選択して、プリンタ個別情報の〔ネットワーク〕のタブをクリックしてください。

プリンタ個別情報（〔ネットワーク〕）

プリンタ個別情報の〔ネットワーク〕に表示される情報と基本的な操作について説明します。



ネットワーク情報を参照する

「表示項目」から参照する情報を選択すると、情報表示部にその情報が表示されます。

基本情報 .... ネットワークの基本情報を表示します。
TCP/IP 設定 .... TCP/IP の設定内容を表示します。
ポート番号 .... TCP/IP で使用するポート番号を表示します。
SNMP 設定 .... TCP/IP の SNMP コミュニティ情報を表示します。
トラップ１～トラップ４ .... SNMP のトラップ通知に関する設定内容を表示します。
情報 .... SNMP マネージャに通知する情報を表示します。
NetWare 設定 ...... NetWare の設定内容を表示します。
（XL-6010/6100/6700、メモリ増設時の XL-5710 のみ）

各項目の詳細については、「ネットワーク情報の詳細」（55 ページ）を参照してください。

ネットワーク情報を変更する

目的のネットワーク情報を表示し、設定を変更して〔更新〕をクリックします。変更した内容がプリンタに設定されます。

〔元に戻す〕をクリックすると、変更前の設定内容に戻します。

ガイド

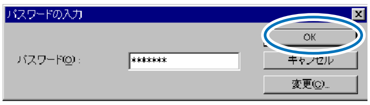
- ネットワーク情報を変更するには、プリンタに設定されたパスワードの入力が必要です。〔パスワード〕をクリックして、パスワードを入力してください。詳細については、「セキュリティについて」（53ページ）を参照してください。
- 設定を行うプリンタが印刷中やエラー状態でないことを確認してください。
- TCP/IPの設定を変更すると、プリンタとの通信ができなくなる場合があります。設定変更後に「プリンタからの応答がありません」と表示される場合は、プリンタ/パソコン双方のネットワーク設定を確認してください。

以下に手順を示します。

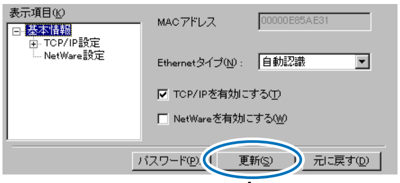
〔ネットワーク〕を表示した直後は、設定は変更できません。



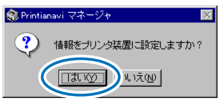
〔パスワード〕をクリック



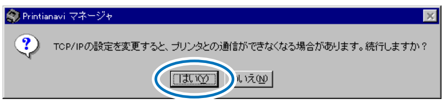
パスワードを入力して〔OK〕をクリック
設定を変更できるようになります。



設定を変更し、〔更新〕をクリック
（LAN接続のプリンタに対してTCP/IPの設定変更時）



または



〔はい〕をクリックすると、変更内容がプリンタに反映されます。

お願い

- **複数台のパソコンから同時にネットワーク設定の変更（更新）を行わないでください。設定変更に失敗する場合があります。**
- **ネットワーク設定の変更を行うと、プリンタは変更情報を反映するために初期化処理を行います。その際、プリンタが受信した印字データも初期化してしまいます。絶対にネットワーク設定変更中に印刷操作を行わないでください。**
  また、初期化処理終了後に文字化けなどの印刷異常が発生する場合があります。特にパラレルポートとLAN両方を接続した運用では注意が必要です。ネットワーク設定を変更する場合、必要のないポートのケーブルは外してください。

セキュリティについて

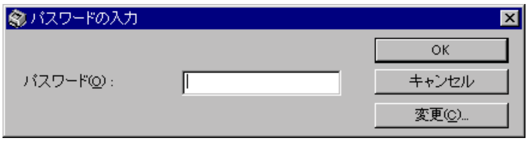
〔ネットワーク〕では、ネットワーク情報の参照はできますが、設定を変更するには、パスワードの入力が必要です。

ガイド

- プリンタが工場出荷時の初期状態のときは、パスワードは設定されていません。
  〔パスワードの入力〕ダイアログが表示されたら、「パスワード」には何も入力せず、〔変更〕をクリックして、パスワード設定してください。パスワードは、設定を行ったプリンタに記憶されます。プリンタが複数台ある場合は、それぞれ設定してください。
- パスワードはPrintia LASER Internet Serviceと共通になります。
- パスワードを入力すると、次のいずれかの操作を行うまで設定の変更を行うことができます。
  - 〔最新の情報に更新〕ボタンをクリックする
  - 〔状態〕タブを選択する
  - 「プリンタ一覧」で他のプリンタを選択する

パスワードを入力する

〔パスワード〕をクリックすると、〔パスワードの入力〕ダイアログが表示されます。



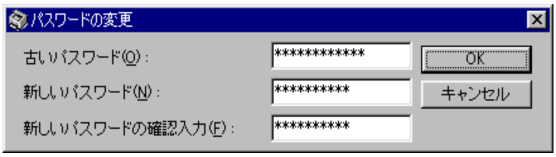
「パスワード」にパスワードを入力し、〔OK〕をクリックすると、プリンタにパスワードを確認します。パスワードが正しければ、設定を変更できるようになります。パスワードが誤っていると、「パスワードが違います」というエラーダイアログが表示されます。〔OK〕をクリックすると、再度、パスワード入力する画面が表示されます。

〔変更〕をクリックすると、〔パスワードの変更〕ダイアログが表示されます。（次項参照）

〔キャンセル〕をクリックすると、〔パスワードの入力〕ダイアログを閉じ、元の画面に戻ります。

パスワードを変更する

〔パスワードの入力〕ダイアログで、〔変更〕をクリックすると、次のダイアログが表示されます。



「古いパスワード」に、現在設定されているパスワードを入力します。（設定されていない場合は、何も入力しない。）

「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認入力」に、変更後のパスワードを半角英数字 15 文字以内で入力します。

〔OK〕をクリックすると、プリンタにパスワードを確認します。パスワードが正しければ、「新しいパスワード」に入力したパスワードに変更されます。

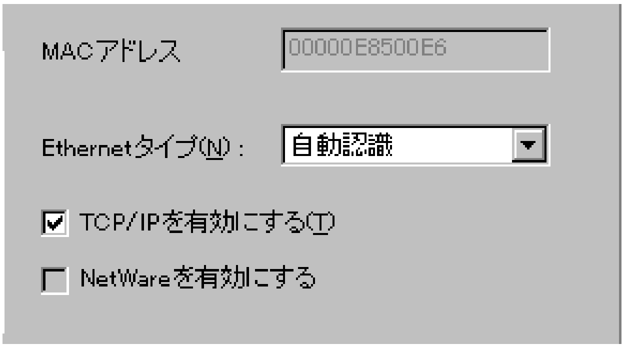
〔キャンセル〕をクリックすると、〔パスワードの変更〕ダイアログを閉じ、元の画面に戻ります。

ネットワーク情報の詳細

情報表示部に表示される情報について説明します。

TCP/IP、NetWare 共通の設定

基本情報



MAC アドレス..................... プリンタの MAC アドレスを表示します。変更はできません。

Ethernet タイプ.................. プリンタの Ethernet タイプを次の中から設定します。

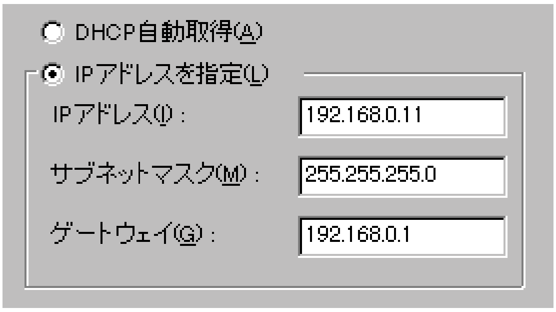
自動認識、100Mbps Full、
100Mbps Half、10Mbps

TCP/IP を有効にする........ TCP/IP の使用、未使用を設定します。

NetWare を有効にする ..... NetWare の使用、未使用を設定します。
(XL-6010/6100/6700、メモリ増設時の XL-5710 のみ)

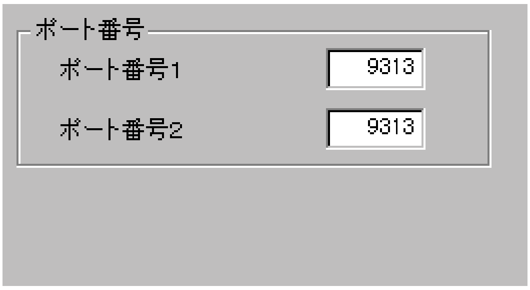
TCP/IP の設定

TCP/IP 設定



DHCP 自動取得 .... IP アドレスを DHCP より取得します。
IP アドレスを指定 .... IP アドレスを手動で指定します。
IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを、半角数字とピリオドで設定します。形式は、「XXX.XXX.XXX.XXX」です。

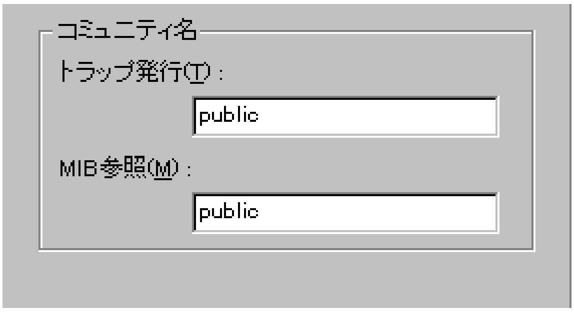
ポート番号



ポート番号１ .... 印刷を受け付けるときに使用するポート番号を、半角数字（1～65535 の範囲）で設定します。初期値は 9313 です。
ポート番号２ .... ネットワーク内のプリンタを検索するときに使用するポート番号を、半角数字（1～65535 の範囲）で設定します。初期値は 9313 です。

ガイド ポート番号は通常お使いになる場合は変更の必要はありません。変更した場合は、Printianavi ネットワークポートモニタの設定も同じ値に変更してください。

SNMP 設定

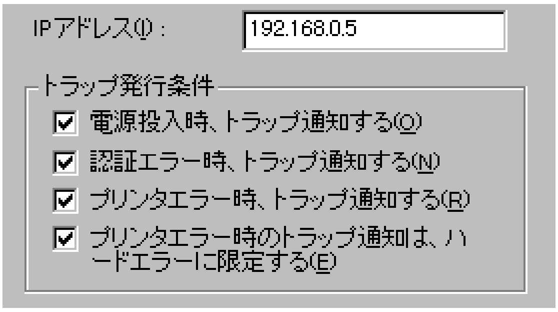


トラップ発行 .... トラップ発行時のコミュニティ名を、半角英数字 15 文字以内で設定します。
初期値は public です。

MIB 参照 .... MIB 参照時のコミュニティ名を、半角英数字 15 文字以内で設定します。
初期値は public です。

ガイド　XL シリーズプリンタから発行されたトラップを SNMP マネージャが受信するためには、両方が同じコミュニティ（管理グループ）に存在することが必要です。
コミュニティ名が空白または不一致の場合は、SNMP マネージャはトラップを受信できませんのでご注意ください。

トラップ１～トラップ４

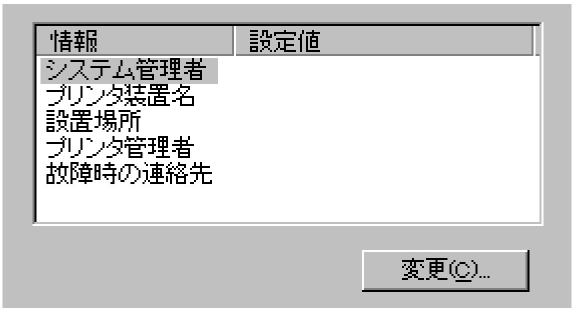


IP アドレス .... トラップ発行先の IP アドレスを設定します。
半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で設定してください。

トラップ発行条件 .... トラップ発行を行うときの条件を設定します。

ガイド　「プリンタエラー時のトラップ通知は、ハードエラーに限定する」は、トラップ１～トラップ４まで同一設定となります。変更は、トラップ１の画面より行ってください。

情 報



情報を変更するときは、目的の情報を選択し、〔変更〕をクリックします。

システム管理者........ SNMP マネージャに通知するシステム管理者名を半角 63 文字以内で設定します。

プリンタ装置名........ SNMP マネージャに通知するプリンタ装置名を半角 63 文字以内で設定します。

設置場所.................... SNMP マネージャに通知する設置場所を半角 63 文字以内で設定します。

プリンタ管理者........ SNMP マネージャに通知するプリンタ管理者名を半角 63 文字以内で設定します。

故障時の連絡先........ SNMP マネージャに通知する故障時の連絡先を半角 63 文字以内で設定します。

ガイド

情報の設定は、全角31文字以内での入力も可能ですが、記号(「(株)」、「Tel.」など）や半角カナには対応しておりません。また、お使いの環境によっては正しく表示されない場合がありますので、半角英数字での入力をおすすめします。

NetWare の設定

NetWare 設定（XL-6010/6100/6700、メモリ増設時の XL-5710 のみ）



マシン名 .... マシン名を半角英数字 31 文字以内で設定します。
ポート名 .... プリンタの NetWare プリンタポート名を、半角英数字 31 文字以内で設定します。
パケット形式 .... プリンタが使用するパケットのフレームタイプを次の中から設定します。
Ethernet- II、802.3、802.2、SNAP
動作モード .... プリンタの動作モードをリモートプリンタモードとプリントサーバモードのどちらにするか設定します。

ガイド Printianavi マネージャで設定できる内容だけでは、NetWare 環境で使用することはできません。NetWare 環境で使用するためには、Printianavi ネットワーク設定ユーティリティで設定を行ってください。

エラー表示

情報を取得できなかったときには、次のエラーを表示します。

情報表示時

「プリンタからの応答がありません」

意味：プリンタの電源が投入されていない、あるいはプリンタとの接続が正しく行われていません。

対処：1. プリンタの電源を確認してください。
2. プリンタとの接続（プリンタケーブル、LAN ケーブル）が正しく行われているか確認してください。
3. LAN 接続の場合は、プリンタ装置と印刷先ポートの IP アドレスが同じになっているか確認してください。

「プリンタからの情報取得ができません」

意味：パソコン側の環境設定が異常です。

対処：1. Printianavi マネージャを再起動してください。
2. プリンタの設定を確認してください。
3. サーバ側で双方向通信機能が有効になっていることを確認してください。
※ クライアント側でも双方向通信機能が有効になっている必要があります。
4. サーバ共有のプリンタの場合、サーバ上にプリンタドライバが正常にインストールされていること、およびサーバ上に「Printianavi LM Service」が起動されていることを確認してください。
※「Printianavi LM Service」の起動を確認する方法は以下のとおりです。

WindowsNT4.0 の場合

〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕〔サービス〕の順に選択し、「Printianavi LM Service」が「開始」になっているか確認する。

Windows2000 の場合

〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕〔管理者ツール〕〔サービス〕の順に選択し、「Printianavi LM Service」が「開始」になっているか確認する。

「システムエラーが発生しました」

意味：Printianavi マネージャで異常が発生しました。

対処：1. Printianavi マネージャを再起動してください。
2. 対処 1 で復旧しない場合は、パソコンを再起動してください。

情報設定時

「プリンタからの応答がありません」

意味：情報設定中にプリンタの電源が切断された可能性があります。

対処：1. プリンタの電源を確認してください。

2. Printianavi マネージャを再起動し、再度設定し直してください。

「情報設定ができません」

意味：パソコン側の環境設定が異常です。

対処：1. Printianavi マネージャを再起動してください。

2. プリンタの設定を確認してください。

3. サーバ側で双方向通信機能が有効になっていることを確認してください。

※ クライアント側でも双方向通信機能が有効になっている必要があります。

4. サーバ共有のプリンタの場合、サーバ上にプリンタドライバが正常にインストールされていること、およびサーバ上に「Printianavi LM Service」が起動されていることを確認してください。

※「Printianavi LM Service」の起動を確認する方法は以下のとおりです。

WindowsNT4.0 の場合

〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕〔サービス〕の順に選択し、「Printianavi LM Service」が「開始」になっているか確認する。

Windows2000 の場合

〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕〔管理者ツール〕〔サービス〕の順に選択し、「Printianavi LM Service」が「開始」になっているか確認する。

「プリンタ装置が他で使用中です」

意味：プリンタが他で使用中のため、設定できません。

対処：1. プリンタが他で使用されていないことを確認後、再度設定し直してください。

「システムエラーが発生しました」

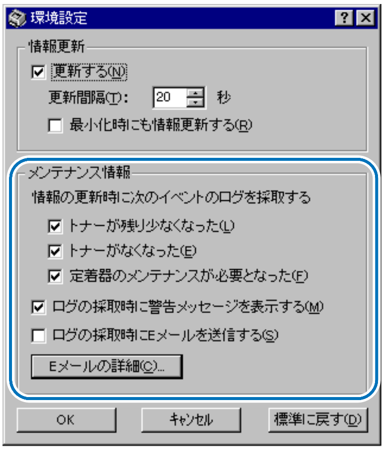
意味：Printianavi マネージャで異常が発生しました。

対処：1. Printianavi マネージャを再起動してください。

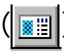
2. 対処 1 で復旧しない場合は、パソコンを再起動してください。

メンテナンス情報について

環境設定のメンテナンス情報では、プリンタのトナーカートリッジや定着器の交換時期などの情報を管理することができます。



環境設定画面の表示方法は、次の２つの方法があります。

・Printianaviマネージャを起動し、ツールバーの環境設定ボタン（）をクリックする
・最小化した場合、右クリックにて表示されるメニューから「環境設定」を選択する

管理するメンテナンス情報を指定する

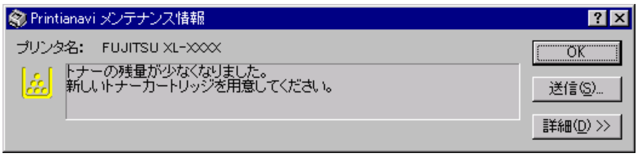
Printianaviマネージャ起動中に発生した以下のメンテナンス情報のログを採取するかどうかを設定します。

トナーが残り少なくなった .... プリンタのトナーが残り少ないことを示すログを採取するときにチェックします。

トナーがなくなった..................... プリンタのトナーの残りがなくなったことを示すログを採取するときにチェックします。（XL-6700のみ）

定着器のメンテナンスが必要となった ... 定着器の交換時期がきたことを示すログを採取するときにチェックします。（XL-5330/5340/5730/6100のみ）

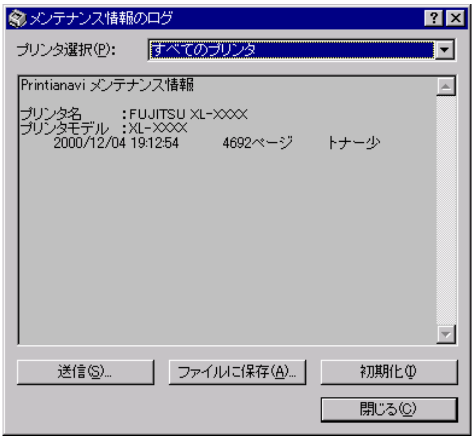
また「ログの採取時に警告メッセージを表示する」をチェックすると、ログを採取するメンテナンス情報が発生したときに、次のようなトナーや定着器に関するメンテナンス情報のメッセージを表示します。
(画面の例はトナーなしのメッセージ)



〔詳細〕をクリックすると、メンテナンス情報の発生日時、印刷枚数やメッセージの履歴、処置方法などのより詳細な情報を見ることができます。
〔送信〕をクリックすると、E メール送信画面が表示されます。なお、環境設定画面の〔E メールの詳細〕にて情報を設定している場合のみクリックできます。E メールの詳細設定については、「E メールで送信する」(64 ページ）を参照してください。

ログを表示／保存／送信／初期化する

採取したログは〔メンテナンス情報のログ〕ボタン（　）をクリックして表示／送信／保存／初期化することができます。



・ログを表示するとき
　メンテナンス情報のログを表示するプリンタを〔プリンタ選択〕で選択します。
　「すべてのプリンタ」を選択すると、Printianaviマネージャのプリンタ一覧に表示されているすべてのプリンタの情報を表示します。

・ログを送信するとき
　〔送信〕をクリックするとメンテナンス情報のログを E メール送信することができます。 E メール送信の詳細については「E メールで送信する」（64ページ）を参照してください。

・ログを保存するとき
表示されたログを保存するときは、〔ファイルに保存〕をクリックし、〔メンテナンス情報ログを保存〕ダイアログで、保存先のフォルダとファイル名を指定して〔保存〕をクリックします。
ログは、テキスト形式で保存されます。

・ログを初期化するとき
表示されたログを初期化するときは、〔初期化〕をクリックします。

E メールで送信する

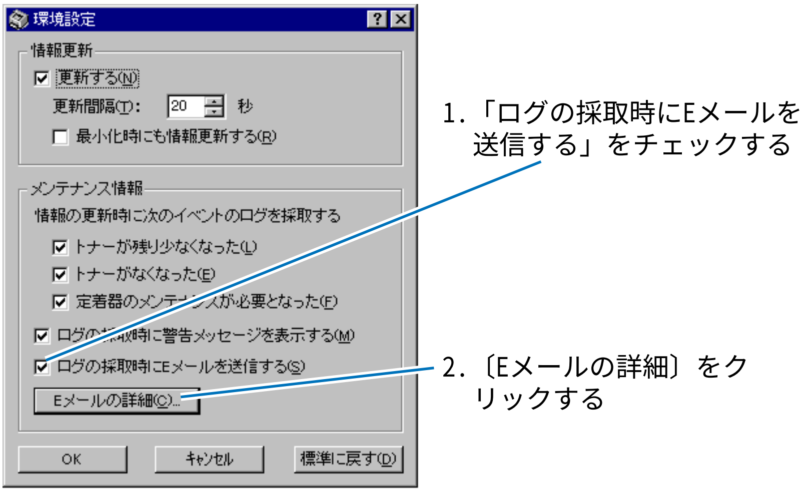
プリンター覧に表示されるプリンタのトナーカートリッジ／定着器等の消耗品の消耗状況のログを、E メール機能を利用して通知することができます。
E メール機能は、以下の３つの利用方法があります。

1) ログの採取時に同時にE メールで送信する(発生メッセージ通知)
2) ログの採取時に警告メッセージを表示させ、ログ情報をEメールで送信する
3) 採取したログを〔メンテナンス情報のログ〕で表示させ、E メールで送信する

ログの採取時に同時に E メールで送信する

設定方法

環境設定画面を用いて設定します。



〔E メールの詳細〕画面



SMTP サーバ名 .... SMTP サーバの名前を指定します。
省略できません。

SMTP ポート番号 .... SMTP サーバが使用しているポート番号を指定します。初期値は「25」です。

送信者名 .... 送信者の名前を指定します。省略できません。

送信元アドレス .... 送信元の E メールアドレスを指定します。複数アドレス指定はできません。省略できません。

送信先アドレス .... 送信先 E メールアドレスを指定します。複数アドレス指定ができます。
入力方法はカンマ＋空白，カンマまたは空白で区切って指定します。

件名 .... E メールの題名を指定します。(半角 255 文字または全角 127 文字以内)
初期値は「Printianavi マネージャ メンテナンス情報のお知らせ」です。

ユーザ情報を付加する .... 〔ユーザ情報編集〕にて指定した内容を E メールの内容の最後に付加します。(66 ページ参照)
初期値は「ユーザ情報を付加しない」です。

コピーを作成する .... コピー送信先アドレスにて指定した E メールアドレスを BCC として E メールを送信します。複数アドレス指定ができます。入力方法はカンマ＋空白，カンマまたは空白で区切って指定します。
初期値は「コピーを作成しない」です。

標準に戻す .... クリックすると各指定項目が初期値に変更されます。ただし「ユーザ情報編集」にて指定したテキスト文章はそのまま残ります。

OK .... クリックすると指定の変更が有効となりウィンドウを閉じます。

キャンセル .... クリックすると指定の変更が無効となり、ウィンドウを閉じます。

送信テスト .... クリックすると 67 ページに示す E メール送信確認画面が表示され、E メールの送信テストを行うことができます。

ガイド

〔Eメール詳細〕画面の〔ユーザ情報編集〕をクリックすると以下の〔ユーザ情報〕画面が表示されます。



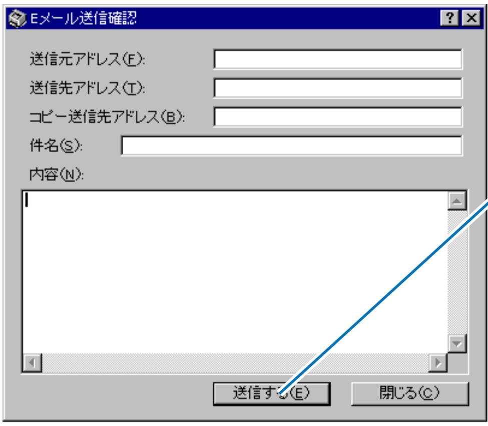
「区切り線」「会社名」「部署名」「電話番号」「E-mail」には、最大255文字（ASCII換算）の文字列、「担当者名」には最大64文字（ASCII換算）の文字列を入力できます。「コメント」には、1行の文字数が最大255文字（ASCII換算）で、最大5行の文字列を設定できます。

初回表示時は、65ページの〔Eメールの詳細〕の「送信者名」と「送信元アドレス」がそれぞれ「担当者名」と「E-mail」に反映されます。

〔プレビュー〕をクリックすると、これらの情報を順に文字列結合した結果を表示します



〔E メールの詳細〕画面の〔送信テスト〕をクリックすると、以下の〔E メール送信確認〕画面が表示されます。



ここをクリックする

「送信元アドレス」「送信先アドレス」「コピー送信先アドレス」「件名」には「E メールの詳細」で設定した値が初期値として設定されます。
「件名」「内容」に半角カタカナ文字が使用されている場合は、全角カタカナ文字に自動的に変換され、送信されます。

送信テストで通知される内容

送信テストです。

送信元コンピュータ：XXXXXXXX ※本ソフトウェアが動作するPCの
コンピュータ名

送信時刻：XXXX/XX/XX　XX:XX:XX

ガイド 上記の設定情報以外に次の情報がメールヘッダに付加されます。

```
MIME-Version: 1.0
X-Mailer:Printianavi E-mail Service Ver1.0
Content-Type: text/plain; charset=iso-2022-jp
```

通知

トナーカートリッジ／定着器の交換要求が発生した場合には、以下の内容のメールが通知されます。

```
メンテナンス情報が発生しました。

送信元コンピュータ：XXXXXXXX ※本ソフトウェアが動作するPCの
                              コンピュータ名
送信時刻：XXXX/XX/XX　XX:XX:XX

プリンタ名：XXXXXXXX
```

上記の内容に加え、以下の情報についての詳細が書かれています。

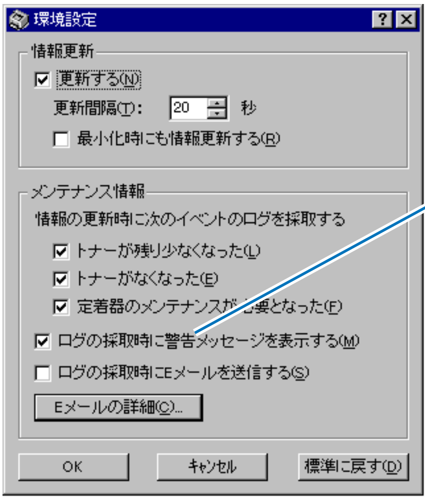
エラー内容、メンテナンス情報の発生日時、プリンタモデル、印刷枚数、前回の記録、処置方法

ガイド 上記の設定情報以外に次の情報がメールヘッダに付加されます。

```
MIME-Version: 1.0
X-Mailer:Printianavi E-mail Service Ver1.0
Content-Type: text/plain; charset=iso-2022-jp
```

ログの採取時に警告メッセージを表示させ、ログ情報を E メールで送信する

設定方法

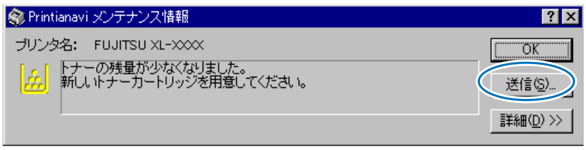


〔環境設定〕画面で「ログの採取時に警告メッセージを表示する」をチェックする

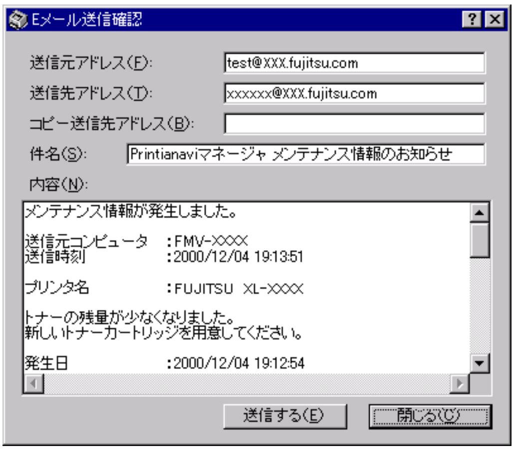
ここをチェックする

表示と送信方法

ログの採取時に警告メッセージを表示する設定で、トナー／定着器の交換要求が発生した場合、以下の画面が表示されます。



〔送信〕をクリックすると、以下の確認画面が表示されます。なお、環境設定画面の〔Eメールの詳細〕にて情報を設定している場合のみクリックできます。



「送信元アドレス」「送信先アドレス」「コピー送信先アドレス」「件名」の設定方法は、「ログを採取時に同時に E メールで送信する」の「E メールの詳細」（65 ページ）についての記述で設定した値が初期値として設定されています。

「送信元アドレス」「送信先アドレス」「コピー送信先アドレス」「件名」の設定方法は、「ログを採取時に同時にEメールで送信する」の〔Eメールの詳細〕についての記述（65ページ）を参照してください。

内容 .... 初期値として送信する内容により、次のように設定されています。

メンテナンス情報を送信する場合

```
メンテナンス情報が発生しました。

送信元コンピュータ：XXXXXXXX ※本ソフトウェアが動作するPCの
                              コンピュータ名
送信時刻：XXXX/XX/XX　XX:XX:XX

プリンタ名：XXXXXXXX
```

上記の内容に加え、以下の情報についての詳細が書かれています。

エラー内容、メンテナンス情報の発生日時、プリンタモデル、印刷枚数、前回の記録、処置方法

ガイド 上記の設定情報以外に次の情報がメールヘッダに付加されます。

```
MIME-Version: 1.0
X-Mailer:Printianavi E-mail Service Ver1.0
Content-Type: text/plain; charset=iso-2022-jp
```

採取したログを「メンテナンス情報のログ」で表示させ、E メールで送信する

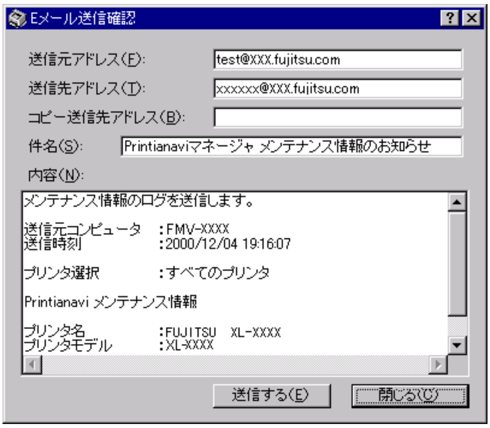
表示と送信方法

「プリンタ選択」で選択されているプリンタのメンテナンス情報を E メールで送信します。



ツールバーの「メンテナンス情報のログ」で表示させ、「プリンタ選択」でメンテナンス情報を E メールで送信したいプリンタを選択し、〔送信〕ボタンをクリックする

ここをクリックする



「送信元アドレス」「送信先アドレス」「コピー送信先アドレス」「件名」の設定方法は、「ログを採取時に同時に E メールで送信する」の「E メールの詳細」（65 ページ）についての記述で設定した値が初期値として設定されています。

なお、アドレス等の設定方法については、「ログを採取時に同時に E メールで送信する」の「E メールの詳細」（65 ページ）を参照してください。

内容 .... 初期値として送信する内容により、次のように設定されています。

メンテナンス情報のログを送信する場合

```
メンテナンス情報のログを送信します。

送信元コンピュータ：XXXXXXXX ※本ソフトウェアが動作するPCの
                              コンピュータ名
送信時刻：XXXX/XX/XX　XX:XX:XX

プリンタ選択：XXXXXXXX
```

上記の内容に加え、以下の情報についての詳細が書かれています。

エラー内容、メンテナンス情報の発生日時、プリンタモデル、印刷枚数、前回の記録、処置方法

ガイド 上記の設定情報以外に次の情報がメールヘッダに付加されます。

```
MIME-Version: 1.0
X-Mailer:Printianavi E-mail Service Ver1.0
Content-Type: text/plain; charset=iso-2022-jp
```

第4章

Printia LASER Internet Service

Printia LASER Internet Serviceは、Webブラウザからインターネットや LAN（TCP/IP）に接続されたＸＬプリンタの状態を参照したり、ネットワークに関する設定を変更したりすることができます。
この章では、Printia LASER Internet Serviceの使い方について説明します。

はじめに

ここでは、Printia LASER Internet Service をご使用になる上で必要なことがらについて説明します。

Printia LASER Internet Service とは

Printia LASER Internet Service は、インターネットや LAN（TCP/IP）に接続されたＸＬプリンタの状態を参照したり、プリンタのネットワークに関する設定を変更するためのコンテンツです。
プリンタに直接搭載されているため、Webブラウザがインストールされたパソコンであれば、専用ソフトのインストールなしで使用することができます。

動作環境

Printia LASER Internet Service は、以下の製品版 Web ブラウザで動作します。

・Netscape® Communicator 4.0 以上
・Microsoft® Internet Explorer 4.0 以上

なお、ご使用になるブラウザで次の機能を使用可能にしておいてください。（設定方法の詳細については、Web ブラウザの取扱説明書やヘルプ等を参照してください。）

・JavaScript（必須）
ステータス表示の自動更新や設定時の処理にJavaScriptを使用しているため、JavaScript未対応のブラウザでは正しく動作しません。

・スタイルシート（推奨）
機能には差し支えありませんが、表示が見にくくなる場合があります。

・Cookie の使用（任意）
Cookieが使用可能な場合は、ユーザ（Webブラウザ）ごとにステータス表示の自動更新に関する設定を行うことができます。Cookieを使用したくない場合は、プリンタ側に設定された初期値で動作するようにも設定できます。（「情報更新設定」（81ページ）および「管理者情報」（87ページ）参照）

Printia LASER Internet Serviceの使いかた

ここでは、Printia LASER Internet Service の使い方について説明します。

準備

Printia LASER Internet Serviceをご使用になるには、プリンタのIP アドレスの設定が済んでいることが必要です。
また、プリンタが LAN に接続され、電源が入っていることを確かめてから操作を行ってください。
IP アドレスの設定方法については、取扱説明書「第４章 ネットワークプリンタの設定」の「IP アドレスの設定方法」を参照してください。

Printia LASER Internet Service を表示する

Web ブラウザを起動し、Printia LASER Internet Service の URL を次のどちらかの方法で指定します。

- **DNS サーバで登録した名前を指定する場合**
  「http://」の後に、DNSサーバで設定したホスト名＋ドメイン名を指定します。

  例：http://xlprn.xxx.fujitsu.com
  (ホスト名：xlprn、ドメイン名：xxx.fujitsu.comの場合)

- **IP アドレスで指定する場合**
  「http://」の後に、直接プリンタのIPアドレスを指定します。

  例：http://192.168.0.11
  （プリンタのIPアドレスが192.168.0.11の場合）

指定した URL でプリンタに正しく接続されると、次のような画面が表示されます。

※ 画面の例は Microsoft® Internet Explorer です。



モード切り替えボタン
ユーザモードと管理者モードを切り替えます。

メニュー
画面の切り替えやリンク先のページを表示します。

タイトル
タイトルロゴ以外に、プリンタモデル名と簡易ステータスアイコンを表示します。

情報
メニューで選択した項目の情報を表示します。

基本操作

1　必要に応じてモードを切り替える

モード切り替えボタンの文字が黄色く光っている方が現在のモードです。
ユーザーモードでは、プリンタの状態や設定の表示のみ行えます。
管理者モードでは、プリンタの状態表示と設定を行えます。

・管理者モードに切り替えるとき

〔管理者モード〕ボタンをクリックすると、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。



ユーザー名 ....「xladmin」固定です。
パスワード .... Printianaviマネージャと共通のパスワードです。工場出荷時（初期値）の場合は設定されていませんので何も入力しないでください。

正しい値を入力すると、管理者モードに切り替わります。

ガイド　１度認証されたパスワードは、Webブラウザを終了するまで有効です。その間は管理者モードに何度切り替えてもパスワードの入力画面は表示されません。

・ユーザーモードに切り替えるとき

〔ユーザーモード〕ボタンをクリックすると、ユーザーモードに切り替わります。

2　表示または設定する情報を選択する

左側のメニューで表示または設定を行う情報をクリックします。



プリンタの状態や給紙口、オプションの装着状態などを参照します。

プリンタの状態表示の更新間隔をプリンタユーザごとに設定します。

プリンタのネットワークに関する基本情報を表示／設定します。

SNMPに関する情報を表示／設定します。

管理者の連絡先Eメールアドレスや情報更新の初期値を設定します。（管理者モードのみ）

パスワードを変更します。（管理者モードのみ）

メニューの〔お気に入り〕に登録するURLを表示／設定します。

Printia LASER Internet Serviceのバージョン情報を表示します。

ヘルプを表示します。

〔オプション情報〕の〔お気に入り〕で登録されたURLのページを表示します。

管理者情報で登録した管理者のEメールアドレスに対し、メール送信画面を開きます。（ユーザーモードのみ）

詳細については、「各画面の詳細」（80 ページ）の各画面の説明を参照してください。

ガイド　ヘルプはメニューからの選択以外に、?をクリックしても表示できます。



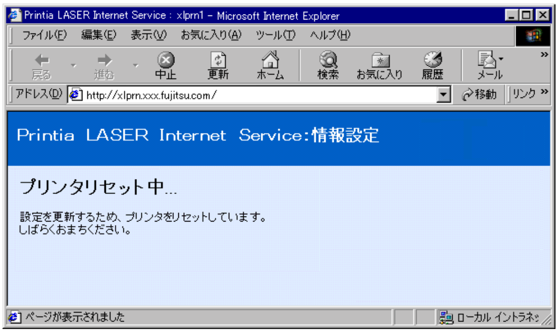
3 *必要に応じてプリンタの設定を変更する（管理者モードのみ）*

設定を変更したら、〔設定〕ボタンをクリックします。

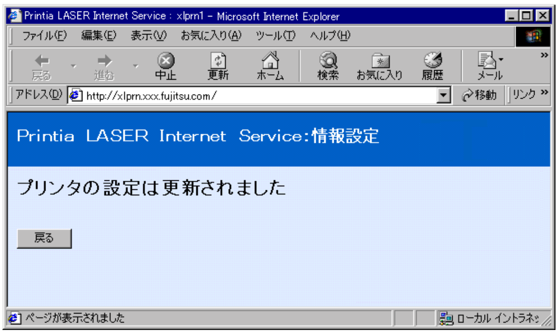
〔設定〕ボタンをクリックする前に〔元に戻す〕ボタンをクリックすると、設定前の状態に戻ります。

お願い

〔設定〕ボタンをクリックせずに他の画面を表示すると、入力した値は設定されることなく削除されます。他のページの情報の設定や表示を行う前に、必ず〔設定〕ボタンをクリックして設定を更新してください。



設定を反映するため、プリンタがリセットされ左の画面が表示されます。



リセットが完了すると、左の画面が表示されます。

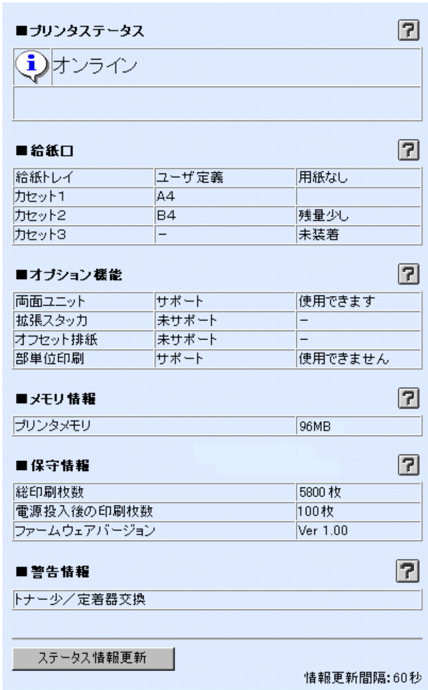
〔戻る〕ボタンをクリックすると、〔管理者モード〕の〔プリンタステータス〕画面が表示されます。

各画面の詳細

ステータス情報

プリンタステータス／詳細情報

※画面の例は〔ステータス情報〕の〔詳細情報〕（管理者モード）です。



プリンタの状態を参照することができます。

プリンタステータス　：プリンタステータスと給紙口の情報を表示します。

詳細情報　：プリンタステータス、給紙口の情報に加え、装着されているオプションや印刷枚数など詳しい情報を表示します。

プリンタステータス........ プリンタの状態が正常かエラーが発生しているかを表示します。

給紙口 .... プリンタの給紙口の装着状態およびセットされている用紙のサイズと残量を表示します。

オプション機能… プリンタのオプション機能のサポート情報および状態を表示します。([詳細情報]のみ)

メモリ情報………… プリンタに装着されているメモリ容量を表示します。([詳細情報]のみ)

保守情報……………印刷枚数（両面印刷時は、表／裏を各１枚としてカウントします）やファームウェアバージョン等、プリンタの保守に関連する情報を表示します。([詳細情報]のみ)

警告情報…………… トナーカートリッジや定着器の交換時期などの、メンテナンスに関する警告情報を表示します。([詳細情報]、管理者モードのみ)

情報更新間隔……. プリンタの状態表示を表示されている秒数間隔で自動更新します。「自動更新しない」と表示されているときは自動更新しません。

〔ステータス情報更新〕ボタン…. プリンタの状態表示を最新の情報に更新します。

ガイド

プリンタが正常かエラーかの状態は、タイトルの右側に表示されている簡易ステータスアイコンでも参照できます。

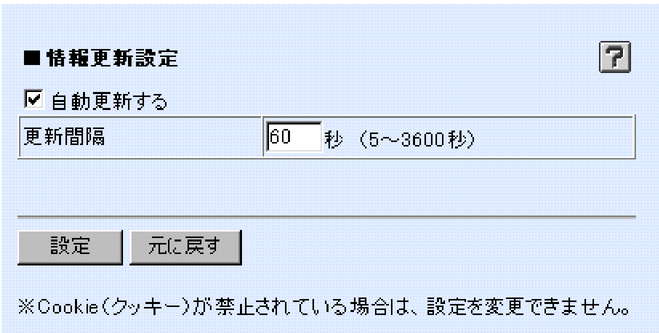


……… プリンタは正常な状態です。



……… プリンタがエラー状態です。

情報更新設定



プリンタの状態表示の自動更新の有無や、自動更新時の更新間隔の設定をユーザごとに行うことができます。ユーザーモードと管理者モードのどちらでも設定できます。

自動更新する .... 自動更新するときにチェックを付けます。
更新間隔 .... 自動更新するときの更新間隔を５～3600 秒の範囲で設定します。

ガイド

本機能は、管理者がユーザ固有の情報更新設定を許可しているときに設定できます。また、本機能を使用するには、あらかじめ Web ブラウザで Cookie の使用を許可しておく必要があります。
設定を行わない場合や、Cookie の使用を禁止している場合は、管理者が設定した初期値で動作します。（「管理者情報」（87 ページ）参照）

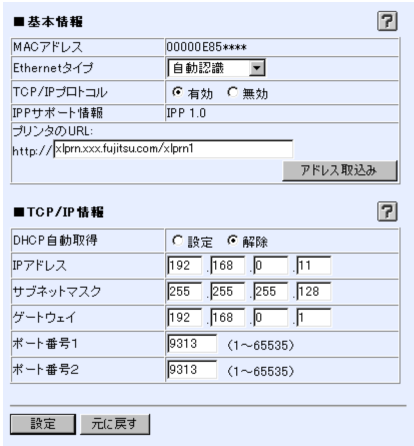
ネットワーク情報

基本情報

ユーザーモード



管理者モード



基本情報

プリンタのネットワーク関連の基本的な情報を表示／設定します。

MAC アドレス .... MAC アドレスを表示します。変更はできません。

Ethernet タイプ .... 次のうちから１つの Ethernet タイプを表示／設定します。初期値は自動認識です。
　自動認識、100Mbps Full、100Mbps Half、10Mbps

TCP/IP プロトコル .... TCP/IP プロトコルの状態を表示／設定します。初期値は有効です。
※「無効」設定時は Printia LASER Internet Service は使用できません。

IPP サポート情報 .... サポートする IPP のバージョンを表示します。変更はできません。

プリンタの URL .... IPP モードで印刷するときに、Printianavi ネットワークポートモニタに指定するURLを「プリンタの IP アドレスまたはホスト名＋ドメイン名」＋「/」＋「IPP プリンタ名」の形式（半角 63 文字または全角 31 文字以内）で表示／設定します。
また、IPP プリンタ名は、ブラウザのタイトルバーにも表示されます。

ガイド

- プリンタのURLのプリンタ名を指定・変更した場合、IPP印刷時はポートモニタのプリンタURLも同じ値に設定する必要があります。
- IPPプリンタ名には、半角空白文字および次の文字は使えません。
  ；／？：＠＆＝＋＄，{}　｜￥＾　[]’＜＞＃％”
- 〔アドレス取込み〕ボタンをクリックすると、Webブラウザで表示されているアドレスを「プリンタのURL」の「プリンタのIPアドレスまたはホスト名＋ドメイン名」に反映することができます。（管理者モードのみ）
  このときIPPプリンタ名が「／」＋「IPPプリンタ名」の形式で指定されていない場合は、初期値の「ipp」をIPPプリンタ名として付加します。
  ただし、取込みによって文字列の合計が半角63文字、または全角31文字を超えた場合は、入力エラーとなりますので値を調整してください。

TCP/IP 情報

プリンタのTCP/IP関連の情報を表示／設定します。（管理者モードのみ）

DHCP自動取得 .... DHCPによるIPアドレス自動取得の状態を表示／設定します。（初期値：設定）
　設定 .... IPアドレスをDHCPにより取得します。
　解除 .... IPアドレスを直接設定します。

IPアドレス .... IPアドレスを表示／設定します。

サブネットマスク .... サブネットマスクを表示／設定します。

ゲートウェイ .... ゲートウェイアドレスを表示／設定します。

ポート番号１ .... 印刷を受け付けるときに使用するポート番号を表示／設定（1～65535）します。
初期値は9313です。

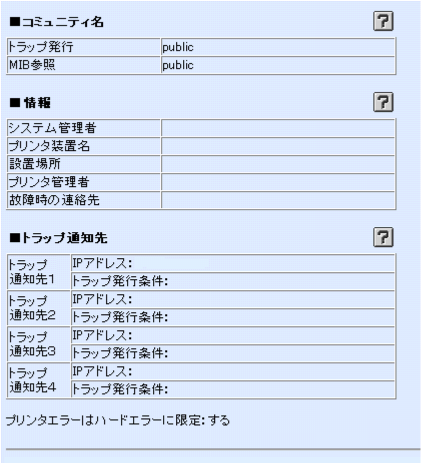
ポート番号２ .... ネットワーク内のプリンタを検索するときに使用するポート番号を表示／設定（1～65535）します。
初期値は9313です。

ガイド

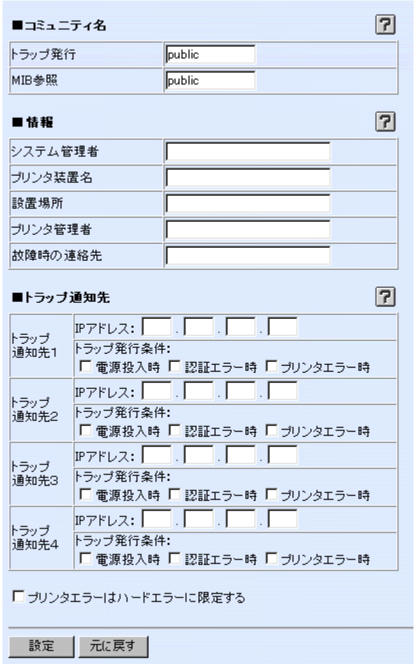
ポート番号は通常お使いになる場合は変更の必要はありません。変更した場合は、Printianaviネットワークポートモニタの設定も同じ値に変更してください。

SNMP 情報

ユーザーモード



管理者モード



プリンタの SNMP 関連の情報を表示／設定します。

コミュニティ名

トラップ発行.................. トラップ発行のコミュニティ名を表示／設定（半角英数 15 文字以内）します。
初期値は public です。

MIB 参照.......................... MIB 参照時のコミュニティ名を表示／設定（半角英数 15 文字以内）します。
初期値は public です。

ガイド XL シリーズプリンタから発行されたトラップを SNMP マネージャが受信するためには、両方が同じコミュニティ（管理グループ）に存在することが必要です。コミュニティ名が空白または不一致の場合は、SNMP マネージャはトラップを受信できませんのでご注意ください。

情報

SNMP マネージャに通知する情報（システム管理者、プリンタ装置名、設置場所、プリンタ管理者、故障時の連絡先）を表示／設定（各項目半角 63 文字以内）します。

ガイド

情報の設定は、全角31文字以内での入力も可能ですが、記号（「㈱」「℡」など）や半角カナには対応していません。また、お使いの環境によっては正しく表示されない場合があるので、半角英数字での入力をおすすめします。

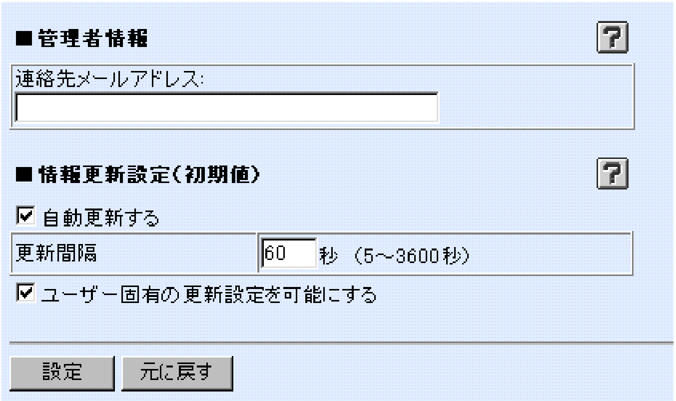
トラップ通知先

４か所までのトラップ発行先と発行条件を表示／設定します。

IP アドレス	トラップ発行先 IP アドレスを表示／設定します。
トラップ発行条件	トラップ発行条件を表示／設定（通知する条件にチェック）します。
プリンタエラーはハードエラーに限定する	プリンタエラー発生時のトラップ発行を、ハードエラーが発生した場合のみに限定します。 ※「プリンタエラーはハードエラーに限定する」は、通知先１～４で共通となります。

オプション情報

管理者情報（管理者モードのみ）



管理者情報

管理者に関する情報を設定します。

連絡先メールアドレス .... ユーザーモードのメニューにある「管理者にメール」の送信先Eメールアドレスを半角63文字または全角31文字以内で設定します。
※ ここで設定したメールアドレスとメンテナンス情報のEメール機能（64ページ）とはリンクしていません。

情報更新設定（初期値）

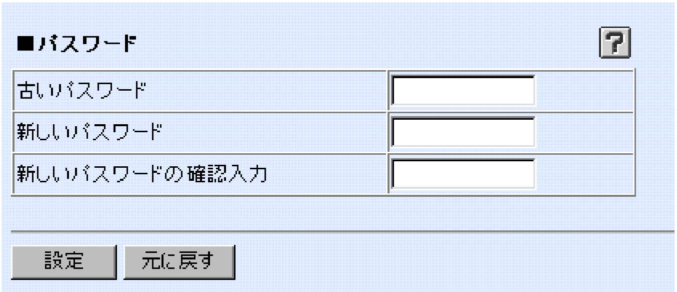
プリンタ状態表示の情報更新に関する設定の初期値を設定します。

自動更新する .... 一定時間間隔で自動更新を行う場合にチェックします。
初期値はチェックあり（自動更新する）です。

更新間隔 .... 自動更新する間隔を5〜3600秒の間で設定します。
初期値は60秒です。

ユーザー固有の更新設定を可能にする .... チェックすると、ステータス情報「情報更新設定」の設定変更が、ユーザ（ブラウザ）ごとに可能になります。Cookie の使用を禁止させたい場合はチェックを外します。チェックを外すと、更新間隔は上記値で固定となり、ステータス情報「プリンタステータス」「詳細情報」の情報更新間隔表示の下に「（管理者設定）」と表示されます。
初期値はチェックあり（可能）です。

パスワード（管理者モードのみ）



プリンタのパスワードを変更します。
パスワードは、次の場合に使用されます。
・Printia LASER Internet Service で管理者モードに入るとき
・Printianavi マネージャで管理者機能関連の設定を行うとき

古いパスワード .... 現在設定されているパスワードを入力します。
新しいパスワード .... 変更するパスワードを半角英数 15 文字以内で入力します。
新しいパスワードの確認入力 ....「新しいパスワード」の確認入力を行います。

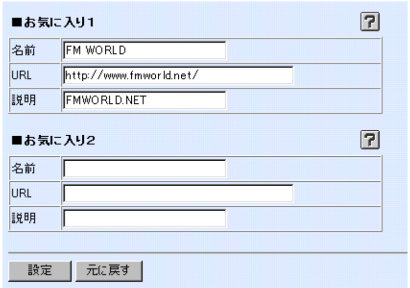
ガイド　パスワードは Printianavi マネージャと共通です。初期値はなし（何も入力しない）です。

お気に入り

ユーザーモード



管理者モード



メニューの「お気に入り」に登録するURLを表示／設定します。（最大２か所まで）

名前 .... メニュー部の「お気に入り」に表示する名前を表示／設定（半角31文字または全角15文字以内）します。

URL .... リンク先URLを表示／設定（半角63文字または全角31文字以内）します。

説明 .... リンク先の説明を表示／設定（半角31文字または全角15文字以内）します。

ガイド

- 初期値として、「お気に入り１」にはＦＭＷＯＲＬＤ.ＮＥＴ（http://www.fmworld.net/）が登録されています。
- URLの先頭に「http：//」が指定されていない場合は、設定時に自動的に「http：//」が付加されます。

バージョン情報



Printia LASER Internet Serviceのバージョン情報を表示します。

ヘルプ

ヘルプを表示します。

ガイド　ヘルプメニューからの選択以外に（）をクリックしても表示できます。

付　録

問題が発生した場合の対処方法（トラブルシューティング）およびソフトウェアに関する留意事項について示します。

ソフトウェアに関するトラブルシューティング

プリンタを使用しているときに発生する問題のうち、ソフトウェアに関するものについて、現象と対処方法を説明します。

セットアップ時のトラブルシューテング

プリンタをセットアップするときに発生する問題と、その対処方法について説明します。

ポートの選択画面に「Printianavi Network Port」が表示されない

《現 象》

プリンタを TCP/IP の LAN 環境に直接接続して使用または IPP 印刷を行いたいが、プリンタドライバインストール中に選択するポートの一覧に、「Printianavi Network Port」が表示されない。

《対 処》

Printianaviネットワークポートモニタがインストールされているか確認し、それぞれの操作を行ってください。

Printianaviネットワークポートモニタがインストールされているか確認する

〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi V5.1〕〔ネットワークソフトウェア〕〔セットアップ〕の順に選択します。セットアップ画面にて「変更」を選択して〔次へ〕をクリックし、「Printianaviネットワークポートモニタ」にチェックがついているか確認してください。

- 「Printianaviネットワークポートモニタ」がチェックされていないときは、変更画面で「Printianavi ネットワークポートモニタ」をチェックし、インストールとポートの作成を行います。
  ➡ インストール方法については、「取扱説明書」を参照してください

- 「Printianavi ネットワークポートモニタ」が表示されたとき
  仮のポート（LPT1 など）でプリンタドライバをインストール後、プリンタのプロパティからポートを追加します。
  ➡ ポートの追加方法については、「ポートの設定を行う」（Windows 95/98/Me は「Windows 95/98/Me のとき」（20 ページ）、Windows 2000 は「Windows 2000 のとき」（23 ページ）、Windows NT4.0 は「Windows NT4.0 のとき」（25 ページ））参照

「Printianavi Network Port」を複数作成したい

《現 象》

1台目のプリンタはPrintianavi ネットワークソフトウェアのインストール時に作成したポートを使用した。2 台目以降のプリンタのポートを作成したい。

《対 処 1》

仮のポート（LPT1 など）でプリンタドライバをインストール後、プリンタのプロパティから「Printianavi Network Port」を追加します。

《対 処 2》

〔スタート〕メニューから〔プログラム〕〔Printianavi V5.1〕〔ネットワークソフトウェア〕〔Printianavi ネットワークポート管理〕の順で選択し、ポートの追加を行います。

ポートの追加方法については、「Printianavi ネットワークポート管理からの設定」（27 ページ）参照

プリンタドライバのインストール中に警告画面が表示された

プリンタドライバのインストール中に、警告画面が表示されることがあります。ここでは、注意が必要な３つの現象（メッセージ）について説明します。

《現象１》

「Windows の CD-ROM を挿入してください」というメッセージが表示された。

《対 処》

〔プリンタ〕フォルダの〔プリンタの追加〕からインストールを行ったときに、製造元とモデルの選択画面で〔ディスク使用〕をクリックせずに一覧からプリンタを選択してインストールしようとすると表示される画面です。
インストールをキャンセルして、再度、プリンタ添付の CD-ROM のインストーラからドライバをインストールし直すことをおすすめします。

「取扱説明書」の「プリンタドライバのインストール」を参照

このまま Windows の CD-ROM をセットしてインストールを続行すると、OS 添付のドライバがインストールされます。
OS 添付のドライバは、最低限の印刷は可能ですが Printianavi 機能およびさまざまな便利な印刷機能がお使いになれません。

お願い

OS 添付のドライバをインストールしたときは、ドライバを削除してからインストールし直してください。

取扱説明書「第 12 章 プリンタドライバの設定」の「新しいドライバに置き換えるとき（プリンタドライバの削除）」参照

《現象２》

〔バージョンの競合〕というメッセージが表示された

《対 処》

現在インストールされているものより古いバージョンのプリンタドライバ、あるいはプリンタドライバが使用する共通のモジュールをインストールしようとしたときに表示される画面です。
〔はい〕をクリックして、現在のファイルをそのまま使うようにしてください。

《現象３》

「プリンタが接続されているサーバには適切なプリンタドライバがインストールされていません」というメッセージが表示された。

《対 処》

クライアントのOS（Windows）用のプリンタドライバが、サーバ側に追加（または代替）インストールされていない状態で、クライアントからサーバ共有プリンタのドライバをネットワークインストールしようとしたときに表示される画面です。
クライアントのOSにより、次の操作をしてください。

クライアントがWindows 95/98/Me/NT4.0のとき

1 添付のCD-ROMをクライアントにセットして、〔OK〕をクリックします。

2 プリンタの製造元とモデルを選択する画面では〔ディスク使用〕をクリックし、CD-ROMにあるプリンタドライバのフォルダ名を指定してインストールを行ってください。

クライアントがWindows 2000のとき

〔キャンセル〕をクリックして、ネットワークインストールを中止します。LPT：などの仮のポートで通常のインストールを行ってから、ポートを変更してください。

取扱説明書「第5章 ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの作成」の「サーバ経由で印刷するとき」参照

ガイド

サーバがWindows 2000/NT4.0でWindows 95/98/Me/NT4.0のクライアントが複数台あるときは、追加（または代替）ドライバをインストールしておくと便利です。

・Windows 2000のときは取扱説明書「第7章 プリンタ共有の設定」の「Windows 2000のとき」参照
・Windows NT4.0のときは取扱説明書「第7章 プリンタ共有の設定」の「Windows NT4.0のとき」参照

運用時のトラブルシューティング

プリンタを運用中に発生する問題と、その対処方法について説明します。

印刷できない

《現 象 1》

テスト印刷ができない、あるいはどのアプリケーションからも印刷できない。

《対処 1》

プリンタの状態およびケーブル接続を確認します。

次の 4 点を確認してください。

・プリンタの電源が入っていますか。

・プリンタケーブル、または LAN ケーブルが正しく接続されていますか。

・プリンタがエラー状態になっていませんか。
プリンタがエラー状態になっているときは、エラーの原因を取り除き、オンライン状態に戻してください。

・プリンタ切替器を使用していませんか。
プリンタとの通信が異常となったり、プリンタ故障の原因となる恐れがありますので、プリンタ切替器は使用しないでください。

《対処 2》

プリンタを LAN ケーブルで接続している場合は、LAN の設定を確認します。Printianavi ネットワークポートモニタを使用、または LPR 印刷を行うための確認です。

設定の一覧を印刷し、次の 4 点を確認してください。

設定の一覧の印刷方法は、取扱説明書参照

・TCP/IP 設定は「有効」になっていますか。
「無効」の場合は、プリンタのオペレータパネルの操作で「有効」に変更してください。

・TCP/IP 状態コードは「0」(正常) になっていますか。
「0」以外のときは、それぞれ次の操作を行ってください。

「1」のとき .... IPアドレスやサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容を確認してください。
「2」のとき .... DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。再度、設定の一覧を印刷してください。
「3」以上のとき ...... DHCP による TCP/IP 構成情報の取得で異常が発生しています。
DHCP サーバの設定を見直すか、プリンタのオペレータパネルの操作で DHCP 自動取得を「解除」し、正しい IP アドレスやサブネットマスクを設定し直してください。

IPアドレス設定ユーティリティを使って設定したIPアドレスは、プリンタの電源を切ると無効になります。
IPアドレス設定ユーティリティでIPアドレスを設定した場合は、プリンタの電源を切る前に必ず、DHCP自動取得を「無効」に変更してください。

・IP アドレスは正しく設定されていますか。
➡ IP アドレスおよび TCP/IP 設定の方法については、取扱説明書参照

・プロキシサーバは正しく設定されていますか。
IPP での印刷時にプロキシサーバが必要な場合は、プロキシサーバの設定を正しく行ってください。

《対処３》

プリンタドライバの設定を確認します。
サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、サーバ側の設定も同様に確認します。

プリンタドライバの設定画面を開き、次の点を確認してください。
・印刷先ポートにプリンタが接続されていないポートが指定されていないか
・別の場所に設置されたプリンタが指定されていないか

取扱説明書参照

お使いの OS によって、印刷先ポートを確認する画面が異なります。
Windows 95/98/Me のとき〔プリンタのプロパティ〕の〔詳細〕ダイアログ
Windows 2000/NT4.0 のとき〔プリンタのプロパティ〕の〔ポート〕ダイアログ
プリンタを LAN ケーブルで接続している場合は、次の点も確認してください。

・「Printianavi Network Port」で接続のとき
印刷した設定の一覧と、IPアドレスおよびポート番号の設定が一致しているか、確認してください。
それぞれ次のダイアログで確認できます。
IP アドレス（注）.....〔ポートの設定〕
ポート番号 ....〔オプション〕
ポート番号がプリンタのポート番号 1 と同じか確認してください。設定が異なっている場合は、一致させてください。
また、接続モードが IPP の場合は、次の設定も確認してください。
プリンタの URL.......〔ポートの設定〕
設定の一覧と同じか確認してください。値が空白になっている場合は、「プリンタの IP アドレス /ipp」と設定してください。
プロキシ設定............〔プロキシ設定〕
プロキシサーバの設定については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
注: ホスト名を指定している場合は、そのホスト名が使用するIPアドレスで確認してください。

・「LPR Port」で接続のとき（Windows 2000/NT4.0 のみ）
次の２点を確認してください。
- 〔ポート〕ダイアログの〔ポートの構成〕をクリックし、IP アドレスが同じか確認してください。設定が異なっている場合は、一致させてください。
- 〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずし、双方向通信を無効にしてください。

《対処４》

スプーラ上でプリンタまたはドキュメントが停止状態になっていないか、次の手順で確認します。

1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択します。
2 〔プリンタ〕フォルダから該当するプリンタをダブルクリックします。
3 表示される画面のタイトルバーや状態に「停止中」または「一時停止」と表示されていないか確認します。
停止状態のときは、〔ファイル〕メニューおよび〔ドキュメント〕メニューの「一時停止」のチェックをはずします。

《対処５》

双方向通信をサポートした他のプリンタドライバ（XL-2000W、XJ シリーズなど）がインストールされていないか、確認してください。

双方向通信をサポートするプリンタの印刷先を同じプリンタポート（LPT1：）に指定したまま使用すると、印刷が行えない場合があります。

実際に接続していないプリンタの印刷先ポートは、「FILE：」に変更してください。

《対処６》

双方向通信機能をサポートしないプリンタポートを使用していないか確認してください。また、Windows 95/98/Me でプリンタポート（LPT1：）から印刷しているときは、ポートのドライバに問題はないか確認してください。
次の手順で確認します。

1〔プリンタのプロパティ〕で〔詳細〕ダイアログを表示します。

2〔スプールの設定〕をクリックして「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」と「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」のそれぞれの設定でテスト印刷を行います。
※OS が Windows Me のときの表記は、「このプリンタの双方向通信機能をサポートする」となっています。
「このプリンタの双方向通信機能をサポートしない」でのみ印刷できる場合は、ご使用のパソコンのプリンタポートが双方向通信機能をサポートしていないか、ポートドライバに問題があることが考えられます。

ECPプリンタポートが設定されているときは、次の手順でプリンタポートを変更してください。

・Windows Me のとき

1〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔システム〕をダブルクリックします。

2〔デバイス　マネージャ〕をクリックし、「ポート（COM と LPT)」の「プリンタポート（LPT1)」をダブルクリックします。

3〔ドライバ〕〔ドライバの更新〕の順にクリックします。
ウィザードの最初の画面で「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け)」を選択し、〔次へ〕をクリックします。

4「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択して〔次へ〕をクリックします。

5「すべてのハードウェアを表示」を選択し、製造元の一覧から「(標準ポート)」を選択し、モデルの一覧から「プリンタポート」を選択して〔次へ〕をクリックします。
以降は画面の指示に従って操作してください。

・Windows 98のとき

1〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔システム〕をダブルクリックします。

2〔デバイス　マネージャ〕をクリックし、「ポート（COM/LPT）」の「プリンタ　ポート（LPT1）」をダブルクリックします。

3〔ドライバ〕〔ドライバの更新〕の順にクリックします。
ウィザードの最初の画面では〔次へ〕をクリックします。

4「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択して〔次へ〕をクリックします。

5「すべてのハードウェアを表示」を選択し、製造元の一覧から「（標準ポート）」を選択し、モデルの一覧から「プリンタポート」を選択して〔次へ〕をクリックします。
以降は画面の指示に従って操作してください。

・Windows 95のとき

1〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔システム〕をダブルクリックします。

2〔デバイス　マネージャ〕をクリックし、「ポート（COM & LPT）」の「プリンタ　ポート（LPT1）」をダブルクリックします。

3〔ドライバ〕〔ドライバの更新〕の順にクリックします。「一覧からドライバを選ぶ」を選択し、〔次へ〕をクリックします。

4「すべてのハードウェアを表示」を選択し、製造元の一覧から「スタンダードポート」を選択し、モデルの一覧から「プリンタポート」をダブルクリックし、画面の指示に従って操作します。

Windows 95でプリンタポートを変更しても問題が解決しない場合は、Windows 95の修正モジュール等を適用し、プリンタポートのドライバファイル「LPT.VXD」を更新してください。

《対処 7》

IPP印刷時に双方向通信のサポートが有効になっているか確認してください。

プロキシサーバを経由したIPP印刷では、プロキシサーバの種類によっては、片方向通信での印刷が正常に行えない場合があります。双方向通信機能を有効にして印刷を行ってください。

双方向通信機能を有効にしても印刷できない場合は、以下の設定を行ってください。

・ポート番号に80を指定してください。
・「継続通信モードを有効にする」のチェックをはずしてください。

上記の設定を行っても印刷が行えない場合は、プロキシサーバの管理者とご相談ください。

《現 象 2》

特定のデータの印刷時にメモリ不足エラー等が発生する。

《対 処》

プリンタドライバの〔印刷オプション〕ダイアログの設定を確認してください。

次の2つの設定にチェックがついている場合は、チェックをはずして印刷してください。

・パソコンのメモリを節約して印刷する。

・EMFでスプールする。

上記の2つの設定を有効にすると、プリンタドライバの動作に必要なメモリ量を少なくすることができますが、アプリケーションによっては必要となるメモリ量が増える場合があります。

Printianaviのメッセージが表示されない

《現 象》

印刷は行えるが、印刷を行ったパソコンにPrintianaviのメッセージが表示されない。

《対 処》

〔プリンタのプロパティ〕を開き、次の点を確認してください。

取扱説明書「第12章 プリンタドライバの設定」参照

・Printianaviに対応していないプリンタドライバを使用していませんか。
OS添付のプリンタドライバやエミュレーションモード（ESC/PやESC/Page）で印刷している場合は、Printianavi機能は使用できません。
また、古い機種用のPrintia XLドライバでは、新しいプリンタやPrintianavi機能に対応していないことがあります。
お使いのプリンタモデルに合ったプリンタドライバを使用してください。

・NetWare印刷、またはLPR Port印刷ではありませんか。
Windows 95/98/Meは〔詳細〕ダイアログ、Windows 2000/NT4.0は〔ポート〕ダイアログで印刷先のポートがNetWareのプリントキューやLPR Portの場合は、Printianavi機能は使用できません。

- Printianavi を使用する設定になっていますか。
〔装置オプション〕ダイアログの「Printianaviを有効にする」のチェックがはずれている場合はチェックしてください。

- Printianavi のメッセージを表示する設定になっていますか。
〔Printianavi〕ダイアログの「印刷中のステータス表示」「印刷の終了を通知する」の設定を確認してください。
「印刷時のメッセージ表示方法を変更する」（6 ページ）参照

- ステータスとメッセージの通知先の設定を別のパソコンに指定していませんか。
〔Printianavi〕ダイアログの〔オプション〕ボタンをクリックして表示されるダイアログボックスの「ステータスの表示先」に、「コンピュータを指定」で指定したパソコンにメッセージが表示されている場合は、「このコンピュータ」に変更してください。

- 双方向通信機能をサポートする設定になっていますか。
Windows 95/98/Meのとき .... 〔詳細〕ダイアログの〔スプールの設定〕をクリックします。「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」を選択します。
※OSがWindows Meのときの表記は、「このプリンタの双方向通信機能をサポートする」となっています。
Windows 2000/NT4.0のとき .. 〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックがはずれている場合はチェックします。

- ネットワークインストールしたプリンタの印刷先をローカルポートに変更していませんか。
サーバ共有プリンタに印刷するためにネットワークインストールしたプリンタドライバの印刷先ポートをローカルポートに変更すると、双方向通信機能が動作しないため、Printianavi機能が使用できなくなります。
印刷先をローカルポートに変更するときは、新たにローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールし直してください。

- Windows 2000/NT4.0 で区切りページを指定していませんか。
本プリンタではWindows 2000/NT4.0の区切りページファイル（*.sep）の印刷をサポートしていません。また、Printianavi機能が正常に動作しなくなりますので、お使いにならないでください。

サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、次の点を確認してください。

・Windows NT4.0 のサーバから Windows 2000 のクライアントにプリンタドライバをネットワークインストールしていませんか。
この場合〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックがグレーアウトされ、Printianavi機能が正常に動作しません。
プリンタドライバを削除し、LPT1：などの仮のポートで通常のインストールを行ってから、ポートを変更してください。

詳細は「取扱説明書」を参照

・クライアントとサーバの OS が両方とも Windows2000 ではありませんか。

クライアントとサーバのOSが両方ともWindows2000の場合、サーバ側のプリンタのプロパティで〔詳細設定〕ダイアログの「詳細な印刷機能を有効にする」がチェックされていると、サーバ側にメッセージが表示される場合があります。
この場合は、「詳細な印刷機能を有効にする」のチェックをはずしてください。

プリンタの状態の表示や反映が行えない

《現 象》

プリンタドライバの設定画面やPrintianaviマネージャから〔プリンタ状態表示〕が行えない。また、〔プリンタ状態を設定値に反映する〕で情報の取得に失敗してしまう。

《対 処》

印刷中の状態表示や印刷完了通知などPrintianaviのメッセージ通知も正常に行われない場合は、「Printianavi のメッセージが表示されない」（102 ページ）を参照してください。

〔プリンタ状態表示〕および〔プリンタ状態を設定値に反映する〕でのみ問題が発生する場合は、次の点を確認してください。

・プリンタのモデルが異なるプリンタドライバを使用していませんか。
プリンタドライバはプリンタモデルにあったものを使用してください。

・プリンタドライバを更新せずにPrintianaviネットワークポートモニタのみ新しいものをインストールていませんか
Printianaviネットワークポートモニタ V3.1L31以降をインストールした際は、プリンタドライバも更新する必要があります。

「旧バージョン・レベルとの混在運用について」（110 ページ）参照

印刷結果がプリンタドライバの設定と違う

《現 象》

アプリケーションから印刷を行ったが､印刷結果がプリンタドライバで設定した内容と違っている。

《対 処》

アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。
このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。
このような場合は､〔プリンタのプロパティ〕（Windows 95/98/Me）や〔印刷設定〕（Windows 2000)､〔ドキュメントの既定値〕（Windows NT4.0）で設定を変更しても反映されません。
印刷する文書を開いたアプリケーション側でプリンタ設定のプロパティを開いて、設定を変更してください。

取扱説明書「第 12 章 プリンタドライバの設定」参照

Printia LASER Internet Service が正しく動作しない、またはエラー表示される

Printia LASER Internet Service が起動時または起動中に、次のような状態になってしまう。

《現 象 1》

Printia LASER Internet Service の画面が表示されない、または画面の一部が表示されない。

《対 処 》

次の点を確認してください。

・プリンタの電源が入っていますか。
・LAN ケーブルは正しく接続されていますか。
・Web ブラウザに入力した URL は正しいですか。
Printia LASER Internet Service を表示するときの URL は「http://」＋「プリンタの IP アドレス」または「http://」＋「ホスト名＋ドメイン名」を指定します。
プリンタの URL に指定した IPP プリンタ名（「/」以降）は指定しないでください。

また、設定の一覧を印刷し、次の点も確認してください。

設定の一覧の印刷方法は、取扱説明書参照

・プリンタに IP アドレスが正しく設定されていますか。
URL に「ホスト名＋ドメイン名」を指定した場合は DNS サーバの設定も正しいか確認してください。
・TCP/IP 設定は「有効」になっていますか。
「無効」の場合は、プリンタのオペレータパネルの操作で「有効」に変更してください。

《現 象 2》

設定が反映されない、または〔設定〕ボタンが表示されない。

《対 処》

次の点を確認してください。

・サポート外の Web ブラウザを使用していませんか。
Netscape® Communicator 4.0 以上または Microsoft® Internet Explorer 4.0 以上の製品版ブラウザをお使いください。

・WebブラウザがJavaScriptの使用を禁止する設定になっていませんか。

・〔設定〕ボタンをクリックする前に他の情報（ページ）を表示していませんか。
設定は各情報（ページ）ごとに行ってください。また、設定中に他の情報（ページ）に切り替えると切り替え前の設定値は反映されませんのでご注意ください。

《現 象 3》

設定中にエラーが表示された、または設定後の表示が「プリンタリセット中 ...」のままになる。

《対 処》

エラーメッセージが表示されている場合は、メッセージの内容に従って対処してください。

設定後の表示が「プリンタリセット中 ...」のままの場合は、プリンタリセット中にプリンタの電源が切断されるなどで通信が行えなくなったことが考えられます。
プリンタの電源やネットワーク接続を確認後、一度 Web ブラウザを終了し、キャッシュをクリアしてから再度表示しなおしてください。

ソフトウェアに関する留意事項

ここでは、本プリンタ添付のソフトウェアをご使用になる際の留意事項について説明します。

他の Windows OS から Windows 2000 へアップする場合

Windows 95/98/Me や、Windows NT4.0 などから Windows 2000 へアップグレードする場合、 XL プリンタドライバおよび XL プリンタ関連ソフトウェア(ネットワークポートモニタなど)をあらかじめ削除（アンインストール）してください。Windows 2000 へアップグレード後、再インストールしてください。

削除（アンインストール）を行わずに Windows 2000 にアップグレードした場合に発生する可能性がある問題、および対処について説明します。

プリンタドライバ

プリンタドライバがインストールされた状態で Windows 2000 へのアップグレードを行うと、Windows 2000 添付のドライバに置き換わることがあります。
この状態では、Printia XL ドライバが提供している機能が使用できません。
〔プリンタ〕フォルダ、〔サーバのプロパティ〕の〔ドライバ〕リスト、〔デバイスマネージャ〕（表示された場合のみ）から XL プリンタを削除し、パソコンの再起動後、再度インストールを行ってください。

取扱説明書参照

Printianavi ネットワークポートモニタ

ネットワークポートモニタがインストールされた状態で Windows 2000 へのアップグレードを行うと、Printianavi のポート（Printianavi Network Port）が新規に作成できなくなります。
また、ネットワークポートモニタの上書きインストールもできませんので、アンインストールを行ってから再度最新版のネットワークポートモニタをインストールしてください。

Windows 2000 環境で使用時の留意事項

インストール、アンインストール時の注意事項

Windows 2000 環境で「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM に納められている各種ソフトウェアをインストールまたはアンインストールする際は、管理者権限でログオンしてください。
一般ユーザでログオンした状態では、インストール先のフォルダ等へのアクセス権限がないため、正しくインストールまたはアンインストールできない場合があります。
一般ユーザでインストールまたはアンインストールを行って正常に動作しなくなった場合は、管理者権限ログオンし、同一フォルダに上書きインストール後、再度操作してください。

ネットワーク経由でのドライバインストールについて

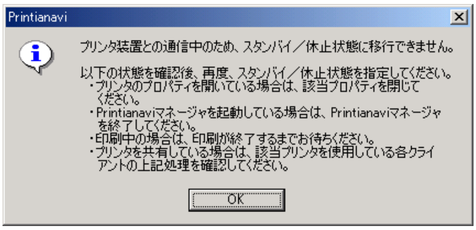
クライアント／サーバ運用で、クライアントに Windows 2000、サーバに Windows NT4.0 を使用した場合、 サーバ(Windows NT4.0)のプリンタをネットワーク経由でインストールすると、「ポート」タブの「双方向サポートを有効にする」のチェックがグレイアウトされ、Printianavi 機能が正常に機能しません。
また、クライアントに Windows 2000、サーバに Windows 95/98/Meを使用した場合、ネットワークインストールを行っても途中で失敗します。
上記の環境では、ネットワーク経由でインストールせず、直接クライアントのローカルポートを選択してプリンタドライバをインストール後、印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更してください。

Windows 2000 クラスタ環境について

Windows 2000 クラスタ環境での動作は保証していません。

ACPIの動作について

本プリンタとパソコンが通信中の場合は、パソコンがACPIによるスタンバイ／休止状態に移行できないため、次のメッセージが表示されます。



パソコンをスタンバイ／休止状態に移行させる場合は、以下の内容を確認し、通信を行っていない状態になってから、再度スタンバイ／休止状態の設定を行ってください。

プリンタを他のパソコン（クライアント）と共有している場合は、使用しているパソコン（クライアント）側からも通信を行わないようにしてください。

- **印刷中のとき**
  印刷が終了するまでお待ちください。
- **プリンタドライバの設定画面（プリンタのプロパティ）を開いているとき**
  プリンタドライバの設定画面（プリンタのプロパティ）を閉じてください。
- **Printianavi マネージャを起動しているとき**
  Printianavi マネージャを終了してください。

なお、サーバがスタンバイ／休止状態のとき、クライアントからサーバの共有プリンタの状態を表示または取得しようとすると、エラー表示になったり、正しい状態が表示されなくなります。このときは、次の操作を行ってください。

- **プリンタドライバの設定画面の〔プリンタ状態表示〕または〔プリンタ状態を設定値に反映する〕でエラーになったとき**
  エラー表示の画面を閉じ、サーバが通常状態に復帰した後に再度操作してください。
- **Printianaviマネージャの状態表示やネットワークの設定でエラーになったとき**
  サーバが通常状態に復帰した後に、〔最新の情報に更新〕ボタンをクリックして表示を更新してください。
  ネットワークの設定を行う場合は、再度設定してください。

旧バージョン・レベルとの混在運用について

XL-5310/5510/5710/5810/6010、XL-5320/5720/6100/6700、およびXL-5330/5340/5730を混在して運用する場合、ソフトウェアの組み合わせにより、動作に不具合が生じる可能性があります。お使いのソフトウェアのバージョン・レベルを確認のうえ、最新版に更新してください。

特に注意が必要な組み合わせ

特に注意が必要な組み合わせについて説明します。

Printianavi ネットワークポートモニタとプリンタドライバ

Printianaviネットワークポートモニタ V5.1L20の持つIPP印刷機能は、XL-5330/5340/5730のプリンタとの組み合わせ時に使用できます。

Printianavi マネージャと対応プリンタ

各プリンタに対応するPrintianaviマネージャのバージョンを次の表に示します。

プリンタ	対応バージョン
XL-5340	V5.1L20 以降
XL-5730/5330	V5.1L10 以降
XL-6100	V3.1L31 以降
XL-6700	V3.1L21 以降
XL-5720/5320	V3.1L20 以降
XL-6010	V3.1L11 以降
XL-5710/5310	V3.1L10 以降

Printianaviマネージャが、お使いのプリンタに対応していないバージョンの場合、プリンター覧に表示されず、状態表示や管理は行えません。

更新時の注意事項

各ソフトウェアを更新する際の注意事項について説明します。

Printia XL ドライバ

各プリンタに対応したプリンタドライバは、添付の CD-ROM の以下の場所に収められています。

プリンタ	プリンタドライバのある場所
XL-5330/5340/5730	「FJXLV51」フォルダ

プリンタドライバの更新方法は、「取扱説明書」の「プリンタドライバのインストール」を参照

Printianavi マネージャ

Printianavi マネージャの更新（上書きインストール）は、ネットワークソフトウェアより、「変更」または「修正」を行います。
ただし、Printianavi マネージャが起動されている場合は、終了させてからインストールを行ってください。

インストール方法については「取扱説明書」の「ネットワークソフトウェア」を参照

Printianavi ネットワークポートモニタ

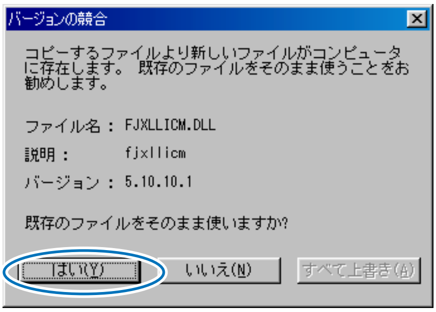
Printianaviネットワークポートモニタの更新（上書きインストール）は、ネットワークソフトウェアより、「変更」または「修正」を行います。
ただし、次の点に注意してください。

- Printianavi Network Port を印刷先に設定しているプリンタがある場合は、印刷先を一時的に別のポートに変更してください。
- Windows 起動後、一度も印刷を行っていない状態でインストールを行ってください。

インストール方法については「取扱説明書」の「ネットワークソフトウェア」を参照

旧バージョンのプリンタドライバインストール時の注意事項

XL-5330/5340/5730がインストールされている環境に、旧バージョンのプリンタドライバをインストールすると、「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示され、既存のファイルをそのまま使用するかどうか選択を求められます。
この場合、「はい」ボタンを押してください。



索 引

ネ

ハ

ヒ

フ

ヘ

ホ

メ

ユ

ロ

Printia LASER プリンタユーティリティ
ソフトウェアマニュアル

B5WY-0151-03　Z0-00

発行日　　　2001 年 6 月

発行責任　富士通株式会社